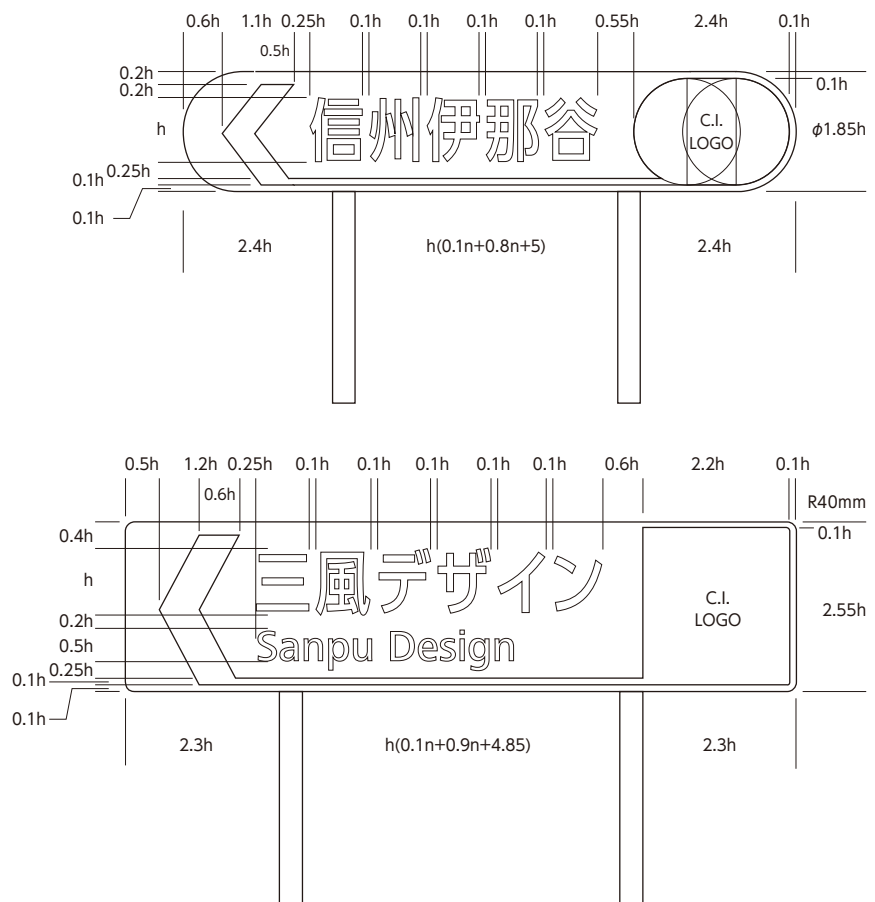


三風モデル看板 (サイン)

デザインマニュアル

www.inadani3pu.org



三風の会
三風モデル看板（サイン）
デザインマニュアル

1. デザインマニュアル策定の経緯と目的	2
2. モデルラインにおける看板（サイン）の基本的考え方	
（1）風景との調和、周辺とのバランスを重視する	3
（2）利用する人への優しさを重視する	4
（3）デザインマニュアルの適用範囲（モデルライン）	5
（4）デザインマニュアルの導入手順	6
3. デザイン基準	
（1）三風デザインの考え方	7
（2）書体	8
（3）文字の大きさ	13
（4）矢印	14
（5）色彩	15
4. デザインと基本寸法	
（1）基本形	16
（2）基本寸法	20
（3）様々な媒体への適用	38
5. 維持管理	
（1）サインの本体基準構造	46
（2）点検及び更新	46
（3）サインの素材	47
6. お問い合わせ先	48
7. 引用・参考文献一覧	48

三風の会の「三風」は、「風土・風景・風格」、この三つの風をあらわします。先人たちが、守り育て、伝承してきたふるさと伊那谷の「風土」「風景」「風格」を、未来世代へきちんとつないでいくために、三風の会は生まれました。そこには、ふるさと伊那谷を誇りに思い、さらに次の世代に継承してほしい、という願いがあります。

たとえば、伊那谷の風景を語る時、その主役は、風景とその未来です。主役のために、今できることは何か。その視点に立って、産学官がチームとなり、小さなモデルづくりから、会の活動は始まっています。そして、三十年、五十年と続いていく活動をめざしています。

1. デザインマニュアル策定の経緯と目的

伊那谷の美しい風景を未来に継承し、伊那谷を誇りとする価値観を育んでいきたい。そのために風景を阻害する看板（サイン）を見直そうという取り組みが、民間企業、地域、上伊那8市町村および大学の協働事業として始まりました。（平成25年～）

まず、伊那谷を貫く広域農道を「風土記街道」と名付け、街道沿いのすべての看板について現状を把握し、すでに役割を終えた看板（サイン）や、劣化が著しく危険な看板（サイン）について、設置者や広告主さんのご理解により、できるところから撤去をしていただいています。

また、架け替えの時期を迎えた看板（サイン）については、背後の山並みや周辺の風景とのバランスを考慮しながら、伊那谷の風景にふさわしい看板（サイン）のあり方を研究しています。その第1号は、平成26年秋、民間企業の誘導サインとして誕生しました。

そしていま、自治体が進める屋外広告物の規制と足並みをそろえながら、続々と架け替えの動きが広まっています。

こうした取り組みを進めるにあたり、伊那谷の風景になじみ、統一感のあるサインを普及するため、このサインデザインマニュアルを策定しました。

行政から民間の企業や個人商店、地域の皆様のご理解のもとに、「三風デザイン」の看板（サイン）が普及し、伊那谷の風景的価値を高めるとともに、未来に継承されていくことをめざします。

2. モデルラインにおける看板（サイン）の基本的考え方

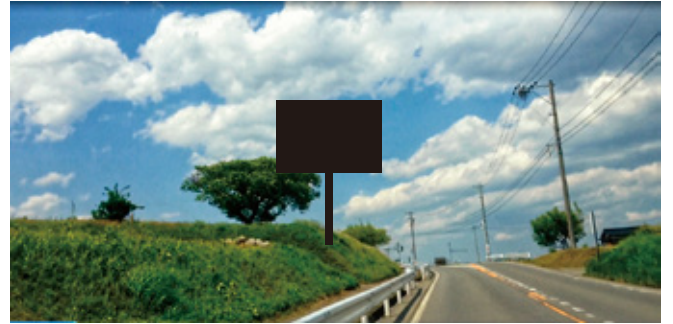
(1) 風景との調和、周辺とのバランスを重視する

本デザインマニュアルの基準による看板（サイン）の普及にあたっては、「風景が主役」という理念に基づき、デザインのほか、設置する場所や数、情報量について必要最低限でかつ効果的なサインの設置をのぞみます。

< 風景に配慮した設置の考え方 >

「伊那谷サインブック（上原研究室監修）から」

1) スカイラインに極力かからないように配置する。



2) 伊那谷特有のアルプスや段丘平野を阻害しないように配置する。



3) 背景として樹林や街路樹があるだけで看板の威圧感が軽減される。

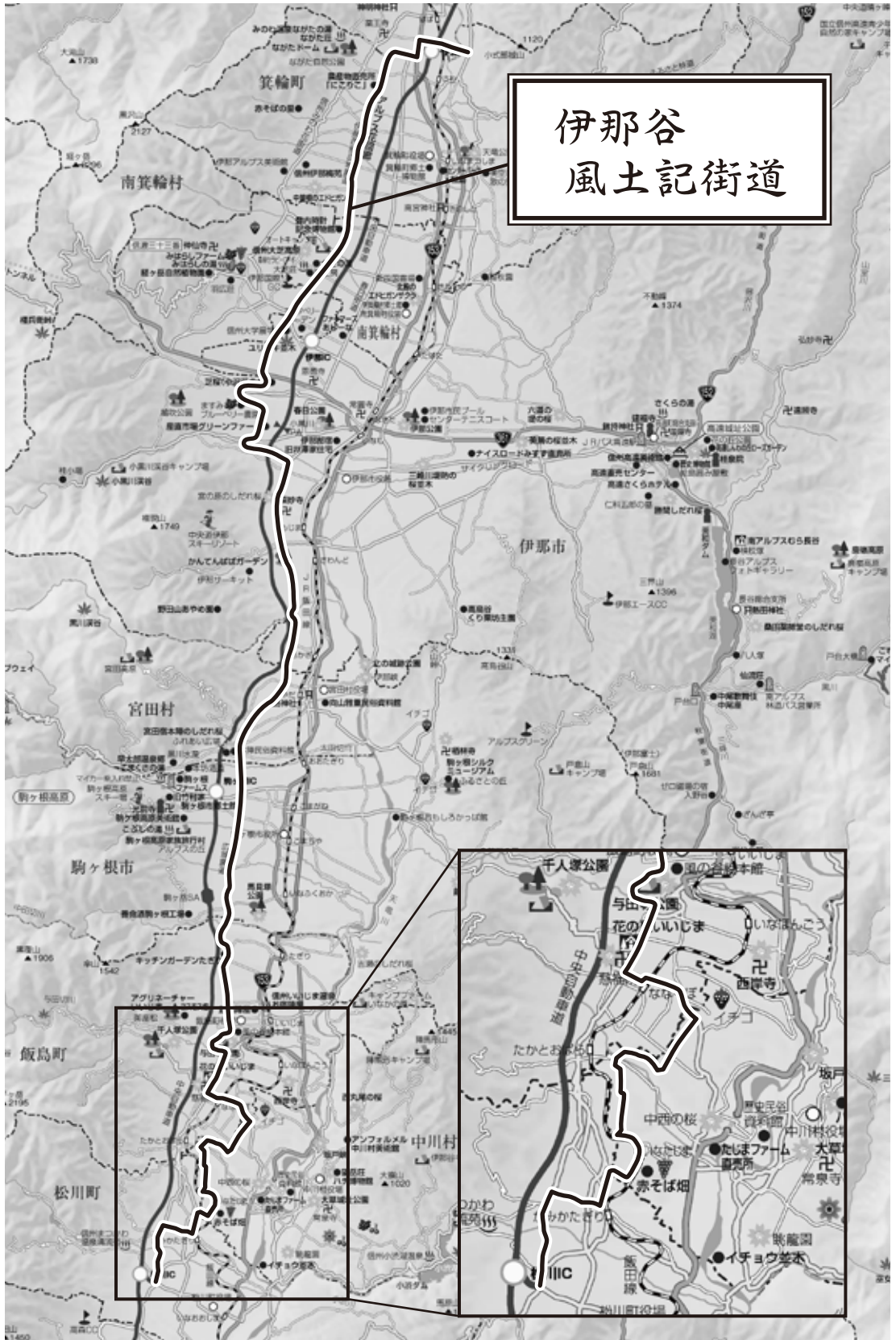


(2) 利用する人への優しさを重視する

サインは、人々が行動するために必要な情報を分かりやすく伝える機能を持っています。しかし現状では、看板（サイン）の乱立や過度な情報量により、必要な情報がわかりにくくなったり、表記方法やサインシステムの統一が図られていないことや、メンテナンスが不十分であるなど、その機能を十分に果たしていない場合があります。このことから、本デザインマニュアルでは、風景と調和し、かつ利用する人にとってわかりやすく、見やすい案内とすることを重視し、さらにメンテナンスの容易さ、設置コストなどの条件も考慮したうえで、基準を示しています。

(3) デザインマニュアルの適用範囲（モデルライン）

このデザインマニュアルの適用にあたっては、上伊那8市町村を南北に貫く広域農道およびその延長道路を「伊那谷風土記街道」としてモデルラインを設定します。ただし、伊那谷全域での当デザインマニュアルの適用は大歓迎です。



(4) デザインマニュアルの導入手順

手順	三風モデル採用に向けたお願い事項	ご連絡先等
<p>1 ご相談</p>	<p>設置場所の市町村担当窓口、看板・デザイン業者様にご相談いただくか、三風の会ホームページをご参照下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○伊那市役所 都市整備課 TEL. 0265-78-4111 (代) ○駒ヶ根市役所 環境課 TEL. 0265-83-2111 (代) ○辰野町役場 建設水道課 TEL. 0266-41-1111 (代) ○箕輪町役場 建設課 TEL. 0265-79-3111 (代) ○飯島町役場 建設水道課 TEL. 0265-86-3111 (代) ○南箕輪村役場 建設水道課 TEL. 0265-72-2104 (代) ○中川村役場 建設水道課 TEL. 0265-88-3001 (代) ○宮田村役場 建設課 TEL. 0265-85-3181 (代)
<p>2 三風モデルを デザインマニュアル (本書) でご確認</p>	<p>三風の会ホームページで「デザインマニュアル (本書)」をご確認下さい。 <u>趣旨をご理解いただき、ご採用いただける場合は必ず三風の会事務局 (看板窓口) にお問い合わせ下さい。</u> また、ご不明の点等もお気軽にお問い合わせください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○三風の会事務局 (看板窓口) TEL. 090-4442-8519 (窪田) TEL. 090-4460-7723 (氏原) ○三風の会ホームページ www.inadani3pu.org
<p>3 業者様へのご発注</p>	<p>「三風モデルで」と業者様にお伝えいただき、本デザインマニュアルのことをお伝え下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○三風の会事務局 (看板窓口) TEL. 090-4442-8519 (窪田) TEL. 090-4460-7723 (氏原) ○三風の会ホームページ www.inadani3pu.org
<p>4 看板設置</p>	<p>ご確認いただいた「三風モデル・デザインマニュアル」に可能な限り沿った風景に配慮した設置をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○三風モデル設置事例 三風の会ホームページ www.inadani3pu.org
<p>5 設置後</p>	<p>三風の会事務局あてお知らせ下さい。設置看板を取材させていただき、三風の会ホームページでご紹介させていただく場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○三風の会ホームページ www.inadani3pu.org

3. デザイン基準

(1) 三風デザインの考え方

① 伊那谷の景観に寄与したサイン

すでに形成された独自の景観を阻害しない色・形状であること。地域の景観に配慮した主張しすぎない、シンプルで品格あるデザインとします。また、時間の経過に対応した、質の高い、飽きのこないデザインを目指します。

「伊那谷らしさ」はすでに地域各地で形成されていますので、サインのデザインは、目立ちすぎてデザイン的に主張することのないようにします。

② 不要な装飾の排除

だれもが理解できるデザインを目指し、サインの表示面で使用する文字の書体、使用する色、大きさ、内容等について、機能的で無駄の無い内容とし、あくまで地域の「脇役」である事に留意して整備します。

③ 環境負荷のかかりにくいサイン

サインは屋外に設置されるため、本体や表示面には耐久性のある材質を使用するなど維持管理の容易さを考慮します。なお、安全性・景観への配慮・経済合理性等も含めた総合的な視点から検討を行ったうえで使用材料を決定するものとします。

④ デザインの統一性

連続した案内となるよう、デザインの統一性を確保すること。

ユニバーサル・デザインの観点から、サインの標記内容については、極力統一した表現とする必要があります。字体や図形等の表現方法を統一することは、利用者にわかりやすいだけでなく、地域全体のサインに統一感を持たせることができます。

(2) 書体

サインに表示する基本書体は、視認性及び可読性に優れた文字を使用し、高齢者、障害者等が見やすくわかりやすいものとします。また、和文書体と英数字書体は、一体で併記するため、組合せがよい書体を使用します。

① 和文書体

和文書体については、文字の線幅がほぼ一定で可読性に優れているゴシック系の書体とし、文字にメリハリがあり、より可読性に優れた UD（ユニバーサルデザイン）書体の角ゴシック体を使用します。

標準書体（正体 100%）で表示スペースが足りない場合は、長体文字・平体文字を使用します。長体を使用する場合は、UD 新ゴ コンデンス体（90～60）を使用します。

モリサワ UD 新ゴ M

**伊那西部広域農道標識案内三風景観表示基準
あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト**

通常の文字レイアウトでは文字カーニング（注1）を 100/1000em としますが、ひらがなやカタカナつづりは、漢字に比べ文字間隔が間延びして見える事が多い。その場合は文字間隔を狭めるなど、文字組みが美しく見えるように文字カーニングの調整を図ることとします。

（注1）文字カーニング：2つの文字間のスペース（余白）を決定するもの。数値がマイナスであれば文字間が狭まり、プラスであれば広くなる。値は 1/1000em で表し、1em は1ポイントのフォントでは1ポイントに、10ポイントのフォントでは10ポイントとなる。

○表示文字数とスペースに合わせて長体を使用

モリサワ UD 新ゴ コンデンス 90 M

伊那西部広域農道標識案内三風景観表示基準
あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト

モリサワ UD 新ゴ コンデンス 80 M

伊那西部広域農道標識案内三風景観表示基準
あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト

モリサワ UD 新ゴ コンデンス 70 M

伊那西部広域農道標識案内三風景観表示基準
あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト

モリサワ UD 新ゴ コンデンス 60 M

伊那西部広域農道標識案内三風景観表示基準
あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト

② 英文・数字書体

英文・数字書体については、ゴシック系の和文書体との調和を考慮し、可読性に優れている“サンセリフ系書体”を使用します。なお、サンセリフ系とは、和文のゴシック体に相当する英文書体です。

文字の間隔は、原則的には正規の文字間隔によるものとし、間隔を調整しないこととします。

標準書体（正体 100%）で表示スペースが足りない場合は、Condensed（長体文字）を使用します。

ライノタイプ Frutiger Next Regular

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890

○表示文字数とスペースに合わせて長体を使用

ライノタイプ Frutiger Next Regular Condensed

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890

③ ローマ字・外国語表記

ローマ字表記は「道路標識設置基準・同解説」（（社）日本道路協会）に準拠し、ヘボン式により表記します。

□ヘボン式のつづり方

あ	い	う	え	お	a	i	u	e	o
か	き	く	け	こ	ka	ki	ku	ke	ko
さ	し	す	せ	そ	sa	shi	su	se	so
た	ち	つ	て	と	ta	chi	tsu	te	to
な	に	ぬ	ね	の	na	ni	nu	ne	no
は	ひ	ふ	へ	ほ	ha	hi	fu	he	ho
ま	み	む	め	も	ma	mi	mu	me	mo
や		ゆ		よ	ya		yu		yo
ら	り	る	れ	ろ	ra	ri	ru	re	ro
わ		を		ん	wa		wo		n
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ga	gi	gu	ge	go
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	za	ji	zu	ze	zo
だ	ぢ	づ	で	ど	da	ji	zu	de	do
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	pa	pi	pu	pe	po
きゃ		きゅ		きょ	kya		kyu		kyo
しゃ		しゅ		しょ	sha		shu		sho
ちゃ		ちゅ		ちょ	cha		chu		cho
にゃ		にゅ		にょ	nya		nyu		nyo
ひゃ		ひゅ		ひょ	hya		hyu		hyo
みゃ		みゅ		みょ	mya		myu		myo
りゃ		りゅ		りょ	rya		ryu		ryo
ぎゃ		ぎゅ		ぎょ	gya		gyu		gyo
じゃ		じゅ		じょ	ja		ju		jo
びゃ		びゅ		びょ	bya		byu		byo
ぴゃ		ぴゅ		ぴょ	pya		pyu		pyo

- ・長音を表す「ー」、「^」、「h」は使用しない。 有楽町：Yuraku-cho
- ・はねる音「ん」はnで表す。ただし、m、b、pの前ではmを用いる。
新川町：Shinkawa-cho
- ・はねる音を表すnに続く母音字、およびyと切り離す必要がある場合は、nの次に「-」を入れる。
新吉町：Shin-yoshi-cho
- ・つまる音は、最初の子音を重ねて表す。ただし、ch、sが続く場合はcではなくtを重ねる。
日航：Nikko
八町通り：Hatcho-dori

□ヘボン式につづりにないローマ字表記

			しえ					she	
			ちえ					che	
つあ			つえ	つお	tsa			tse	tso
	てい					thi			
ふあ	ふい		ふえ	ふお	fa	fi		fe	fo
			じえ					je	
	でい					di			
		でゆ						dyu	
			いえ					ye	
	うい		うえ	うお		wi		we	wo
くあ	くい		くえ	くお	kwa	kwi		kwe	kwo
	つい					tsi			
		とう						twu	
ぐあ					gwa				
		どう						dwu	
うゎ	うゐ	うゑ	うゑ	うゑ	va	vi	vu	ve	vo
		てう						tyu	
		ふゆ						fyu	
		うゆ						vyu	

和製英語や固有名詞で使われることがあり、ヘボン式につづり方には無い表記を上記に示す。

(3) 文字の大きさ

標識令では、非常電話や待避所、駐車場、国道番号などについて、表示板及び文字等の基本寸法が定められています。

三風モデルサインの場合、基本的にこれらに該当しないため、表示する文字の大きさについては、視認性を考慮し、高齢者や弱視者などに配慮しつつ、景観を考慮して調整します。

設定された文字のスケールを基準として、設置する案内標識の形状、掲載する情報内容や量を調整します。

美しい伊那谷の風景を守るため、サインの面積は必要最小限となるようにします。道路法第45条第3項と、金沢市での景観への取り組みの事例を基に、三風モデルサインの文字基準を、道路標識設置基準（日本道路協会）の基本寸法の75%程度と定めます。

道路法第45条第3項

都道府県道又は市町村道に設ける道路標識のうち内閣府令・国土交通省令で定めるものの寸法は、前項の規定にかかわらず、同項の内閣府令・国土交通省令の定めるところを参酌して、当該都道府県道又は市町村道の道路管理者である地方公共団体の条例で定める。

○一般道路に用いる三風モデルサインの文字の基本寸法

法定速度	漢字の高さ（縦型看板の場合は幅）
30 km /h 以下	7.5 cm
40,50,60 km /h	15 cm
70 km /h 以上	22.5 cm

ローマ字の大きさ

大文字：漢字の大きさの1/2

小文字：大文字の3/4程度

距離単位 キロメートル (km)：「k」「m」はローマ字の小文字とする

文字（漢字）の間隔：漢字の大きさの1/10以上

上記はあくまで基準であり、表示する文字の大きさについては、現地の状況に合わせ、視認性を考慮し利用者に配慮しつつ、景観を考慮して調整するものとします。







(4) 矢印

目的地の方向を示すために用いる。







矢印は前左右の3種類の基本とするが、これによる表示が利用者に誤解を与えるような場合は、「斜め方向」の矢印を使用する。

同じ矢印方向の施設が複数有る場合には、距離の遠い施設を上にする。

誤解を招く使い方、例えば「↓」を「(進行方向から) 戻る」という意味での表示はしないように注意する。

	前方		逆方向
	左方向		右方向
	左斜め前向		右斜め前向

横型の道路サイン、標札サインについては、下記の矢印を用いることとする。

	前方		逆方向
	左方向		右方向
	左斜め前向		右斜め前向

(5) 色彩

現在の道路景観は様々な色彩に溢れて、雑然とした印象を与えます。サインの色彩は、郷土の景観に影響を与えるため、色彩の統一を図り、美しい景観作りに寄与します。

サインの色彩及び配色等は、高齢者、障害者が見やすくわかりやすいものとし、ます。なお、高齢者、障害者（特に色覚障害者）へ配慮した色彩を用いることを基本に、以下のとおり留意することとします。

色彩の留意点

- ・ 図色、文字色と地色の明度差を十分大きくする
- ・ 退色を考慮した色に配慮する
- ・ 自然環境に馴染む抑えられた色調

○ 伊那谷ブラウン

美しい広域農道沿いの風景を守るため、サインの色は、四季折々の豊かな自然に溢れる美しい伊那谷の景色と調和するものとするため、彩度・明度を抑えた茶色を地色として使用します。

茶色は土・大地の象徴で、万物を生成する土性の色です。

木や土、大地といった自然を感じさせる茶色は温もりや居心地の良さといった安心感があり、空間の中に馴染み調和します。

茶色は温暖色、重量色のイメージ効果を持ち、安定して、どっしりとした「伊那谷の大地」「瑞瑞しい木々」を連想させ「地域の豊さ」を表します。

また、季節や時代にかかわらず常にそこにある「不変の価値」を表します。

「長く安定した価値」というイメージを持つ茶色は、ブランドのカラーとしても多く使われています。

伊那谷ブラウン 用途： 地色・企業ロゴカラー	印刷色 DIC-333 C63,M80,Y94,K43 マンセル値：3.1 YR 2.6/2.7 推奨カッティングシート 3M JS-1238 クローズブラウン
白 用途： 文字カラー	印刷色 C0,M0,Y0,K0 カッティングシート 夜間利用が多い場所は反射素材仕様を検討する

CMYK（または CMYK カラーモデル）は色の表現法の一つで、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4成分によって色を表す。CMYK はシアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）とキー・プレート（Key Plate）から頭文字1字を取ったもの。

4. デザインと基本寸法

- ・美しい景観を守るため、サインの面積は必要最小限となるようにします。
- ・設置に関しては、現地の状況、周囲の自然、交通環境に十分配慮して設置することとします。
- ・設置場所によっては、ガイドの順守が難しいことも考えられます。その場合は、現地の状況、周囲の自然、交通環境に合わせ、適宜調整をして設置することとします。
- ・文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。

(1) 基本形

① 情報の基本レイアウト



サインの基本系は横型を推奨としますが、設置場所の条件により、縦型も利用可能とします。

② サインの形状

看板の形状を B to B 企業（企業向け事業が主体の企業）と B to C 企業（一般消費者向けの事業）、公共施設とに分けることで、利用者の利便性を高めます。

○B to B 企業（企業向け事業が主体の企業）



○B to C 企業（一般消費者向けの事業）、公共施設



○B to B 企業



○B to C 企業、公共施設



③ 集合サイン

- ・案内する施設が多い場合は、1つの柱にサインを複数並べて設置します。
- ・集合サインの横幅は、一番幅の広いサインの横幅に統一します。
- ・サインの数に応じて、高さを調節し、場合によっては2列に分けることとします。
- ・BtoBとBtoCの施設が複数有る場合には、BtoBの施設を上に出します。
- ・距離の遠い施設を上に出します。



④ サイン設置の高さ

案内面の下面が、対応道路から 1,000mm 以上になるようにします。設置場所と高さに関しては、周囲の自然、交通環境に十分配慮して設置することとします。



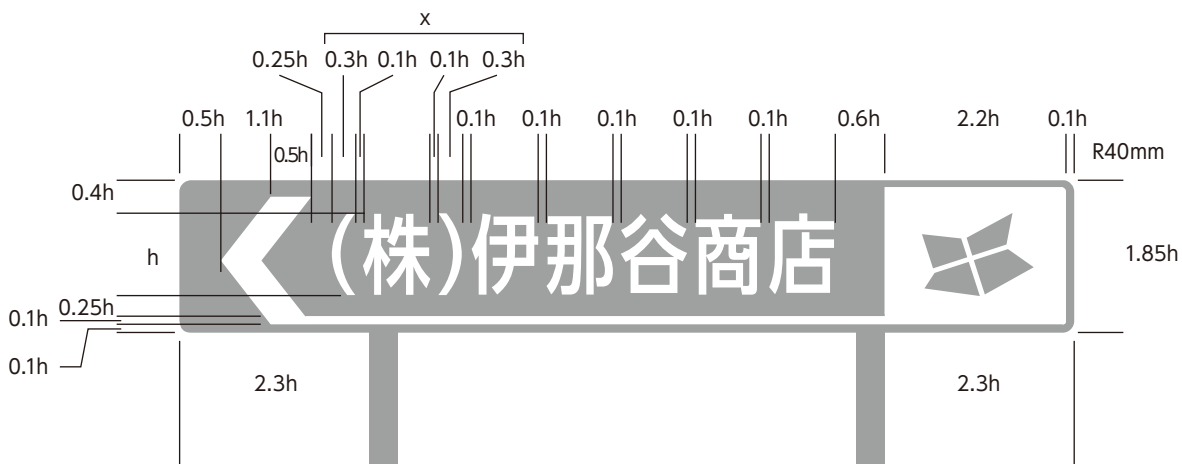
(2) 基本寸法

① 道路サイン

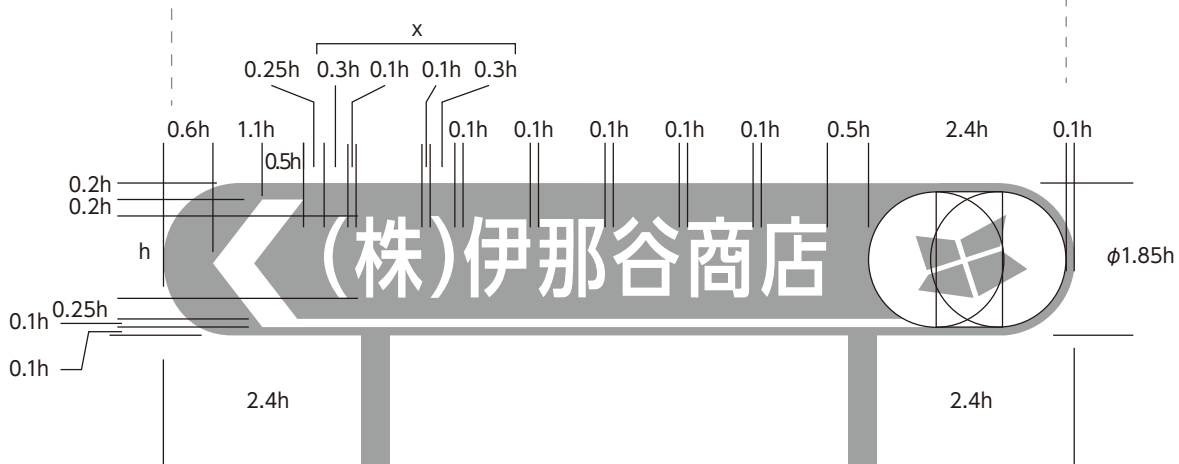
1) 横タイプ_1行

- ・ h は漢字の文字高
- ・ 板寸法は、図の式で計算後、四捨五入でcm単位にまとめるものとします。
- ・ 表示文字数に合わせて、文字の長体率（100%～60%まで）を調整することとする。横幅が1,800mmを超える場合は、改行して調整するものとします。
- ・ 文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・ 名称が1～2文字の場合、最低3文字分のスペースを使用することとします。

○B to B 企業



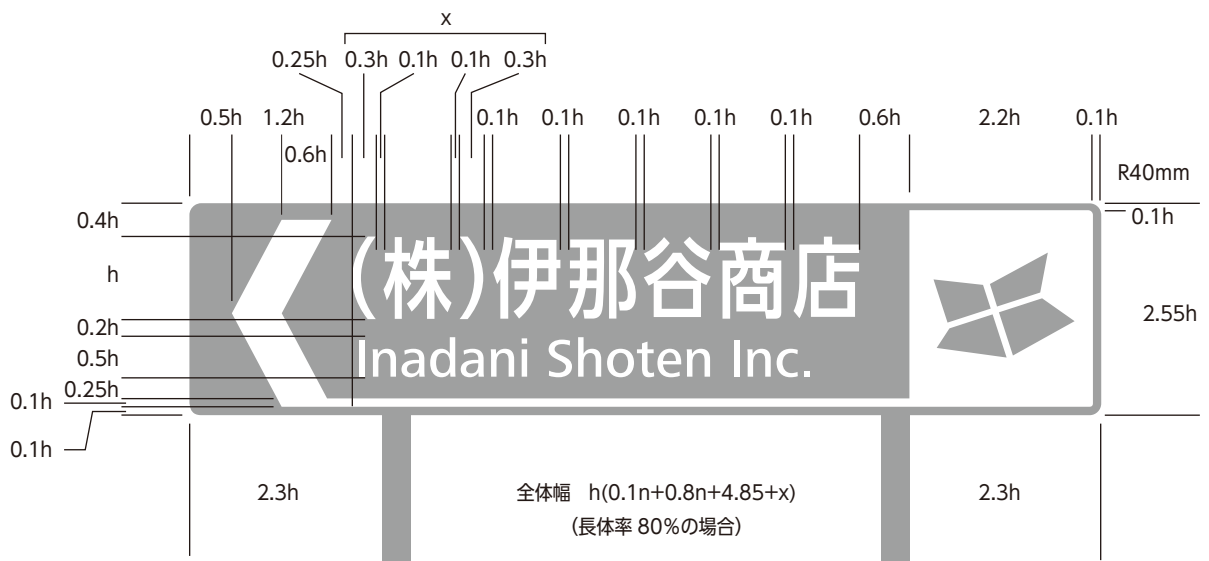
○B to C 企業、公共施設



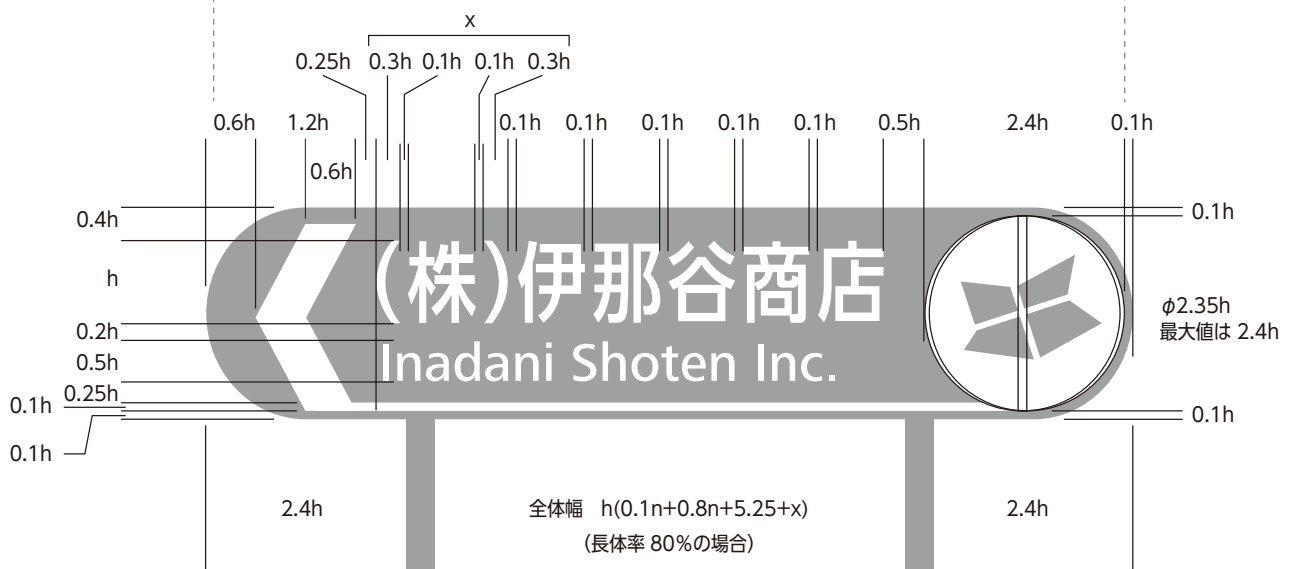
2) 横タイプ_サブ情報表記付

- ・サブ情報は、必要に応じて、英語表記、または、二次的な地名（○○営業所、○○センターなど）を表記するものとします。広告コピー、商品名などの販促目的の表記等はしないものとします。
- ・文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・名称が1～2文字の場合、最低3文字分のスペースを使用することとします。
- ・BtoC サインのロゴ表記エリアの直径は 2.4h を最大とします。

○B to B 企業



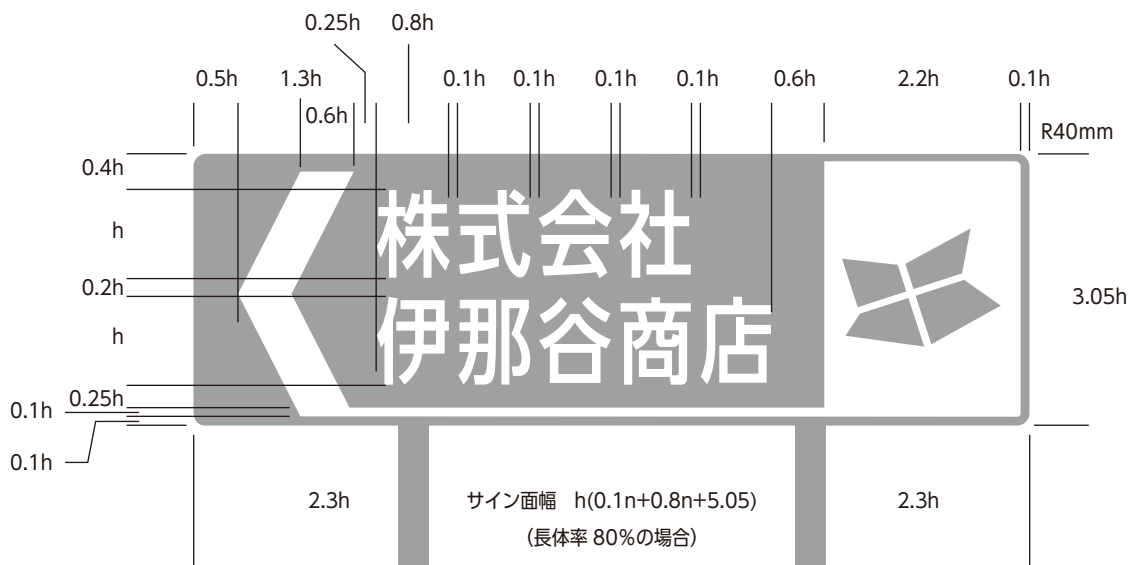
○B to C 企業、公共施設



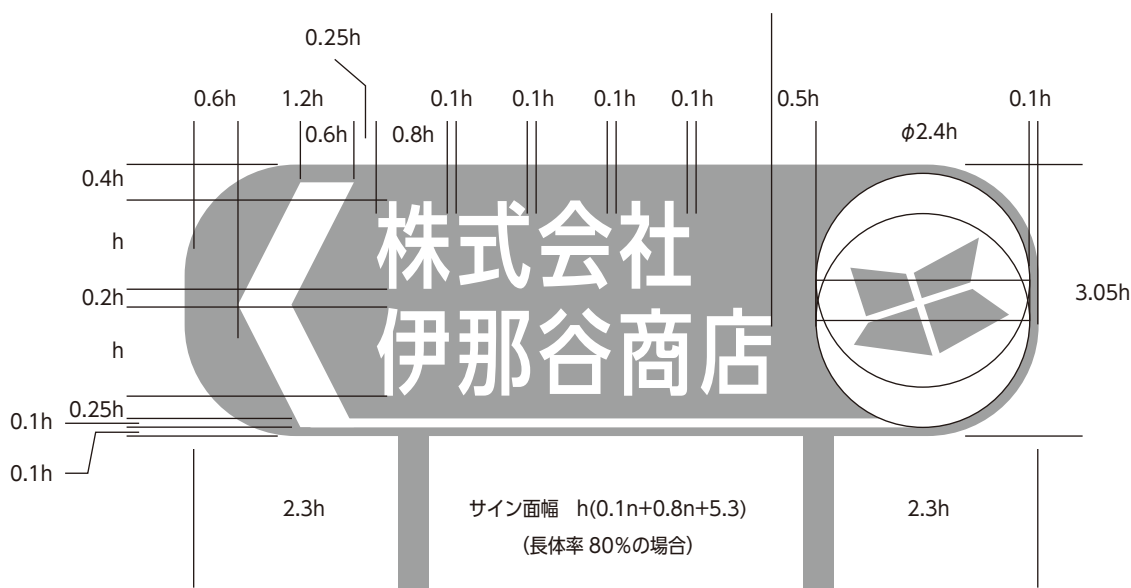
3) 横タイプ_複数行

- ・原則として1行にまとめることが望ましいですが、目的地名が長い場合や設置場所等の状況により、目的地名を複数行に分けて表記するものとします。
- ・文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・BtoCサインのロゴ表記エリアの直径は2.4hを最大とします。

○B to B 企業



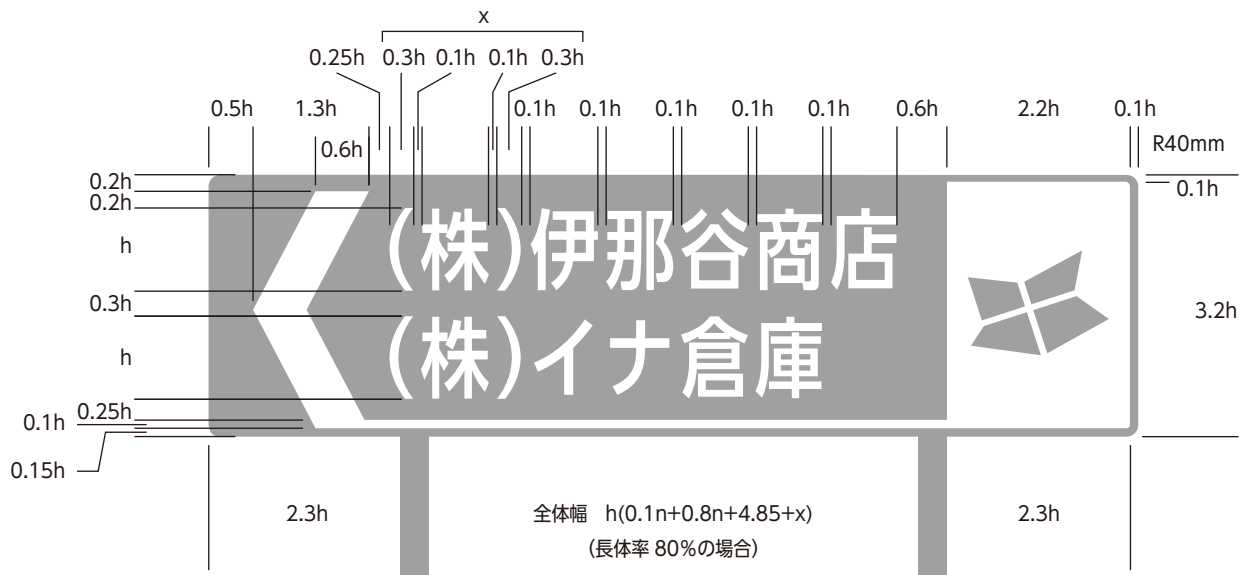
○B to C 企業、公共施設



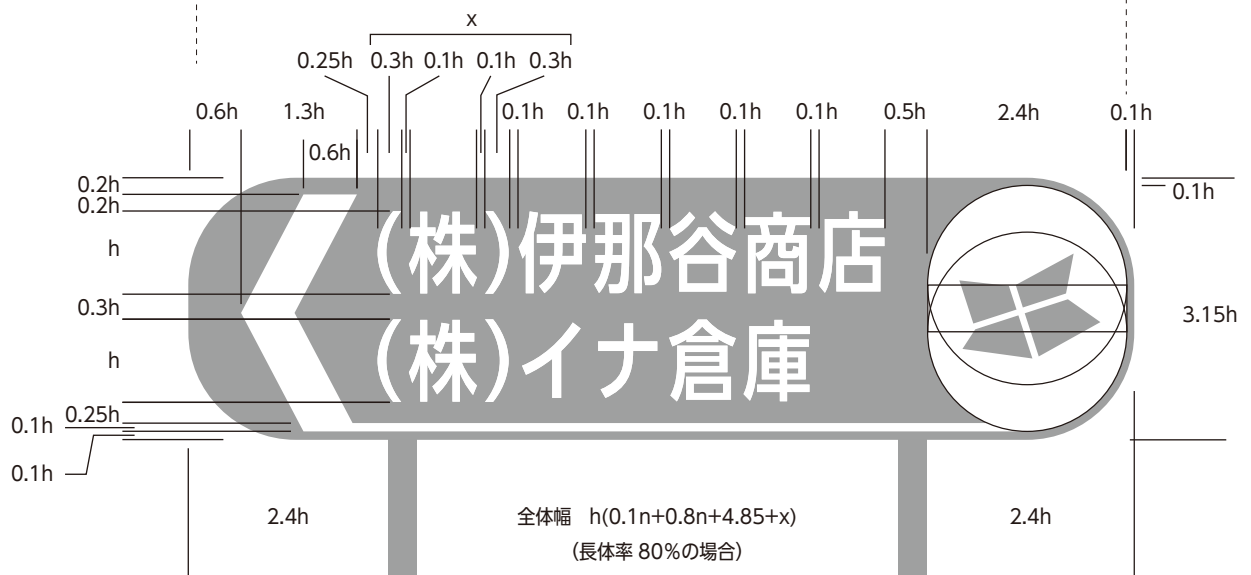
4) 横タイプ_2 施設併記

- ・文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・名称が1～2文字の場合、3文字分のスペースを使用することとします。
- ・BtoC サインのロゴ表記エリアの直径は 2.4h を最大とします。

○B to B 企業



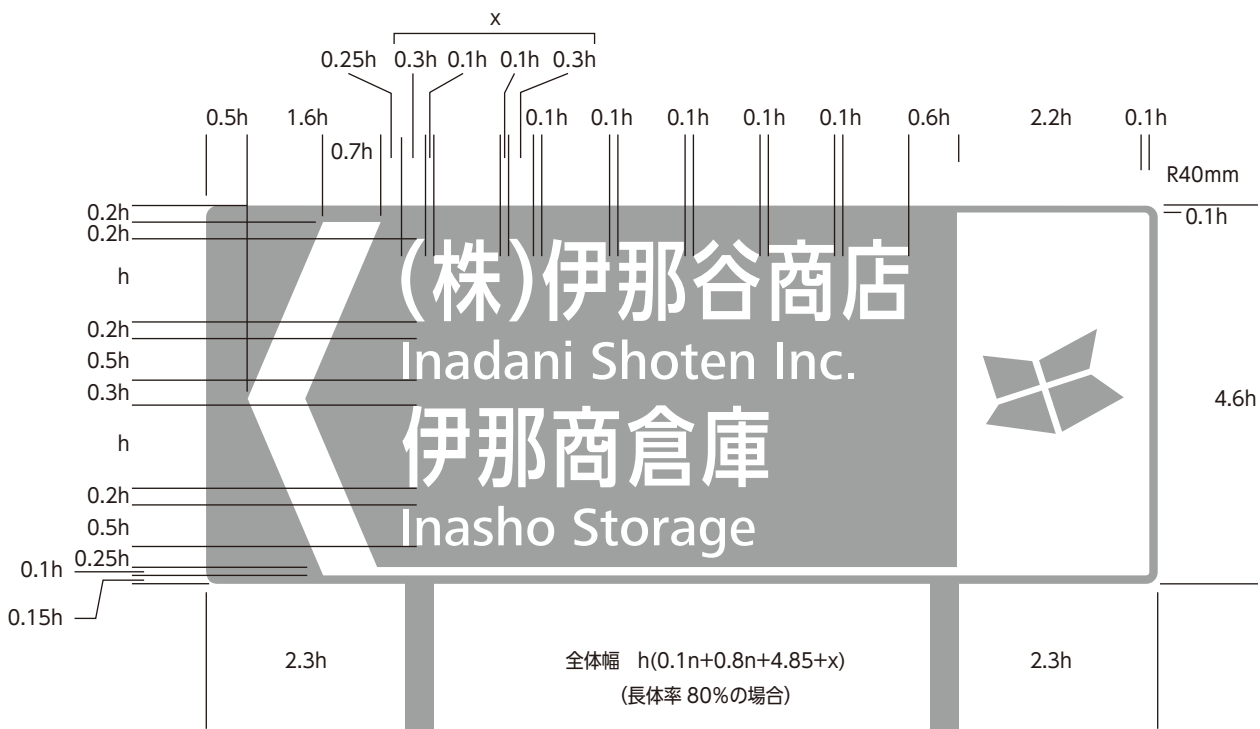
○B to C 企業、公共施設



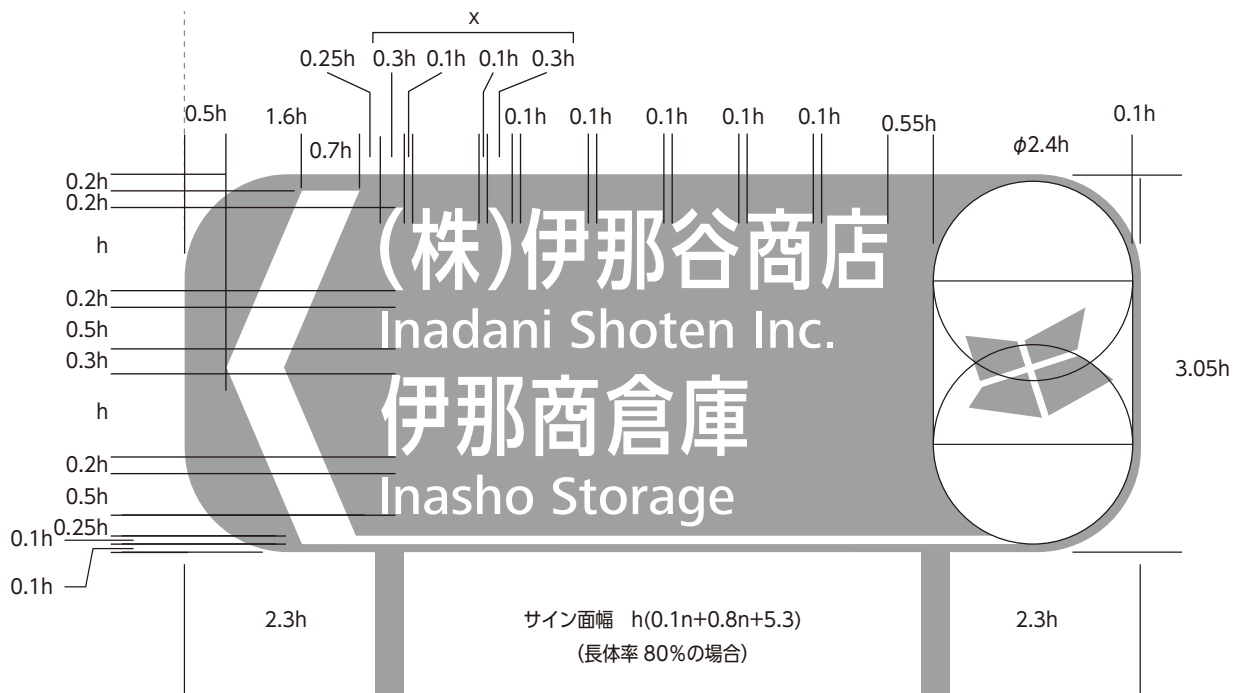
4) 横タイプ_2 施設併記_サブ情報表記付

- ・サブ情報は、必要に応じて、英語表記、または、二次的な地名（○○営業所、○○センターなど）を表記するものとします。広告コピー、商品名などの販促目的の表記等はしないものとします。
- ・文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・名称が1～2文字の場合、最低3文字分のスペースを使用することとします。
- ・BtoC サインのロゴ表記エリアの直径は 2.4h を最大とします。

○B to B 企業



○B to C 企業、公共施設



5) 横タイプ_1行_表記

- ・ h は漢字の規定文字高とします。
- ・ ローマ字の文字高は、規定の文字高の 80%の高さとします。
- ・ 板寸法は、図の式で計算後、四捨五入でcm単位にまとめるものとします。
- ・ 表示文字数に合わせて、文字の長体率（100%～60%まで）を調整することとする。横幅が 1,800mm を超える場合は、改行して調整するものとします。
- ・ 文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・ 名称が 1～2 文字の場合、最低 3 文字分のスペースを使用することとします。

○B to B 企業



○B to C 企業、公共施設



3) 横タイプ_サブ情報表記付_ローマ字表記

- ・ h は漢字の規定文字高とします。
- ・ サブ情報は、必要に応じて、英語表記、または、二次的な地名（○○営業所、○○センターなど）を表記するものとします。広告コピー、商品名などの販促目的の表記等はしないものとします。
- ・ ローマ字の文字高は、規定の文字高の 80% の高さとします。
- ・ 文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・ BtoC サインのロゴ表記エリアの直径は 2.4h を最大とします。

○B to B 企業



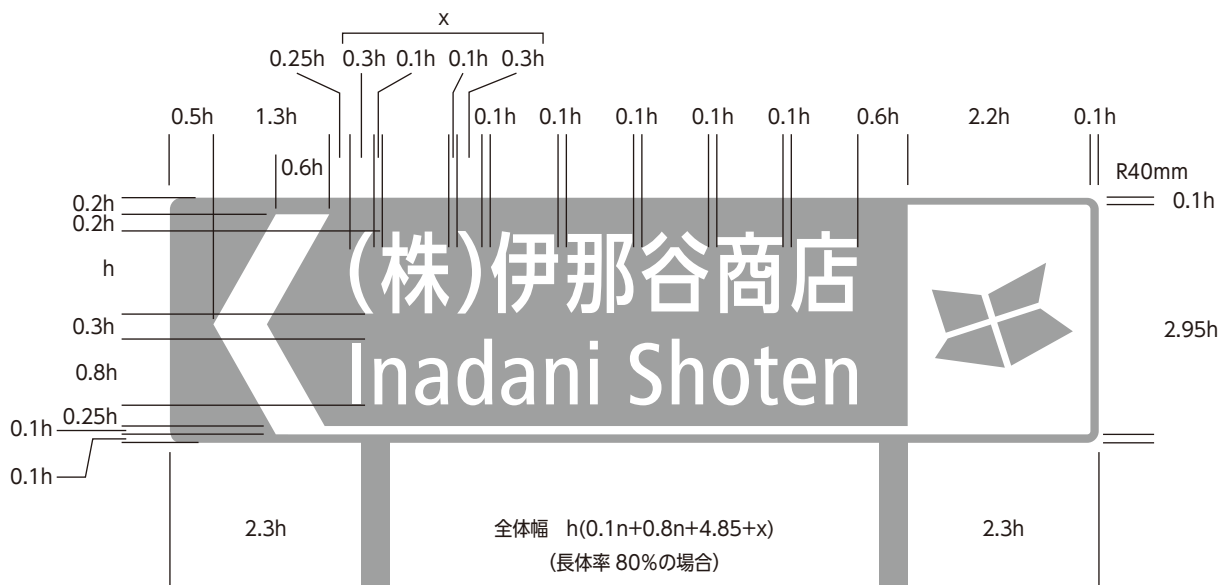
○B to C 企業、公共施設



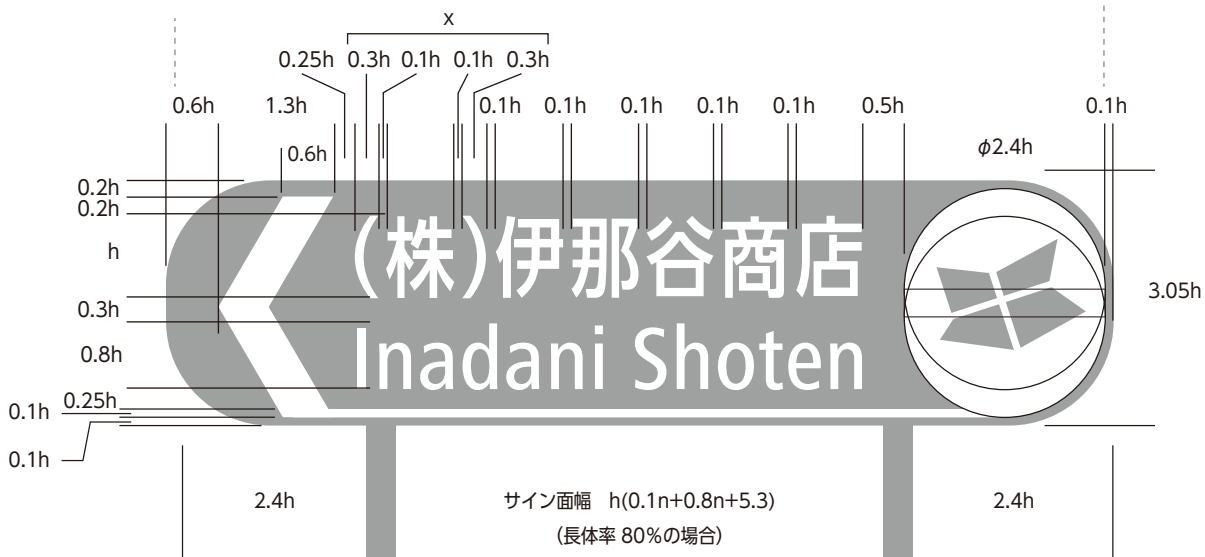
3) 横タイプ_英語併記

- ・ h は漢字の規定文字高とします。
- ・ サブ情報は、必要に応じて、英語表記、または、二次的な地名（○○営業所、○○センターなど）を表記するものとします。広告コピー、商品名などの販促目的の表記等はしないものとします。
- ・ ローマ字の文字高は、規定の文字高の 80%の高さとします。
- ・ 文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・ BtoC サインのロゴ表記エリアの直径は 2.4h を最大とします。

○B to B 企業



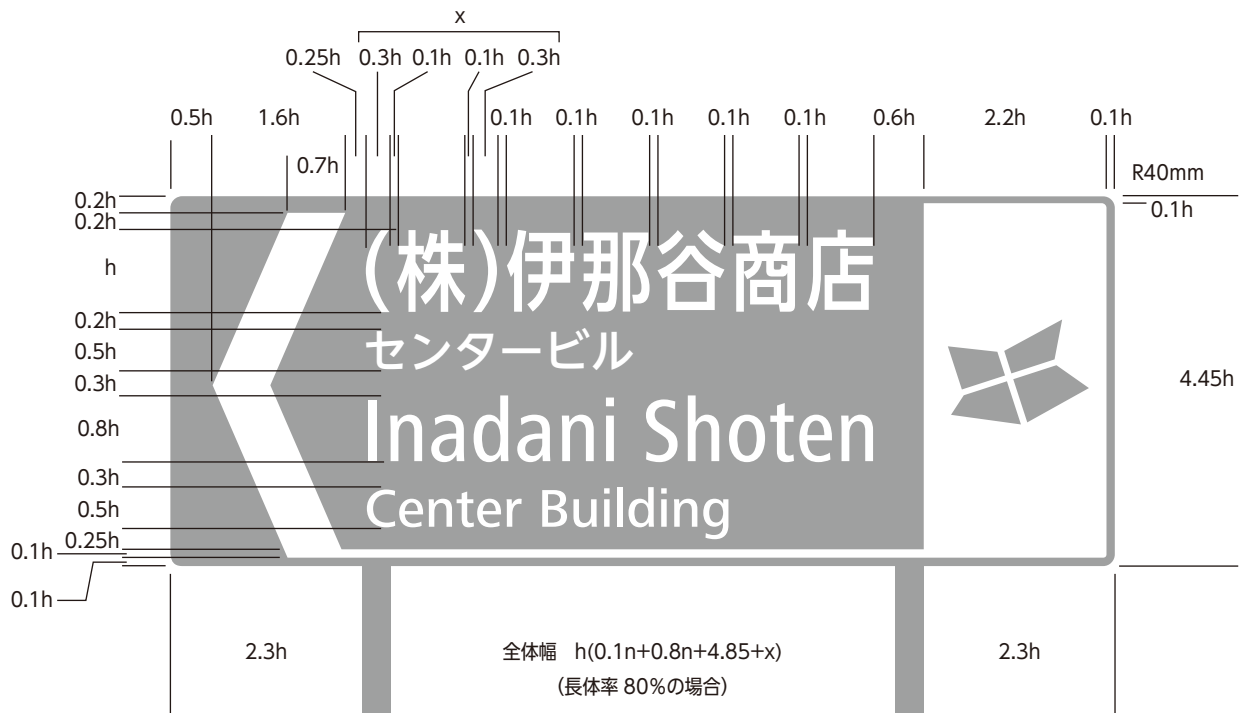
○B to C 企業、公共施設



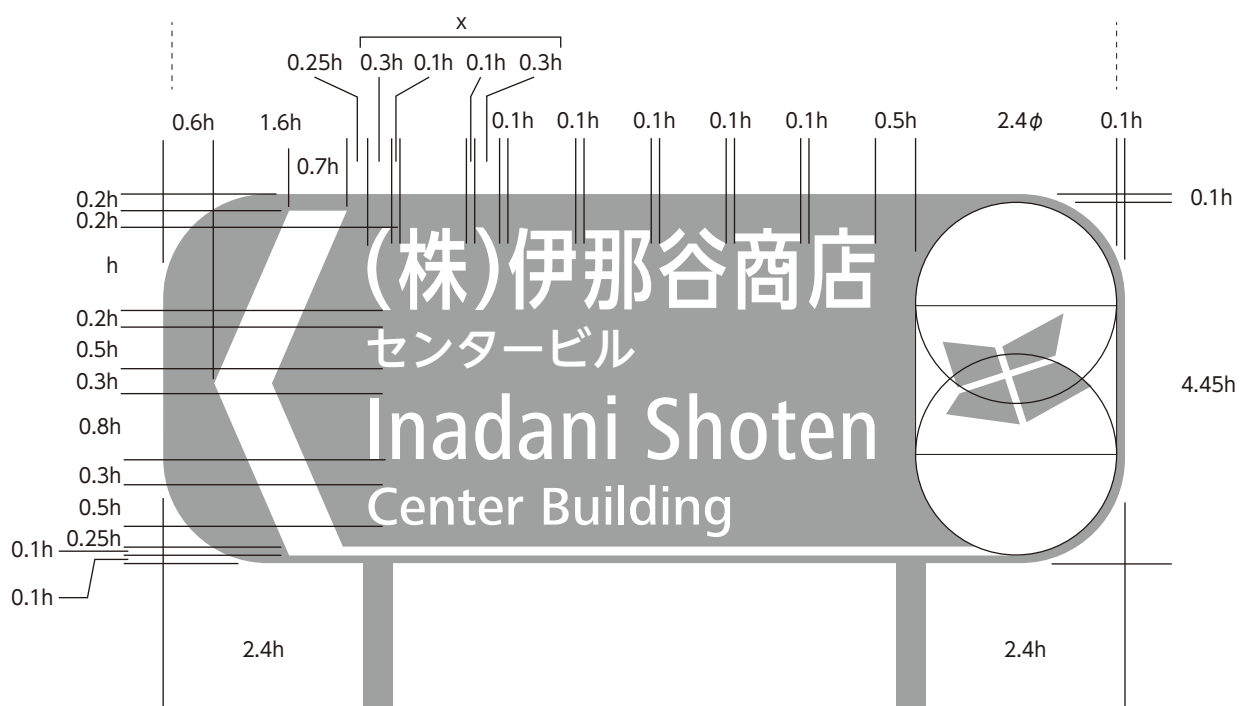
3) 横タイプ_英語併記_サブ情報表記付

- ・ h は漢字の規定文字高とします。
- ・ サブ情報は、必要に応じて、英語表記、または、二次的な地名（○○営業所、○○センターなど）を表記するものとします。広告コピー、商品名などの販促目的の表記等はしないものとします。
- ・ ローマ字の文字高は、規定の文字高の 80%の高さとします。
- ・ 文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・ BtoC サインのロゴ表記エリアの直径は 2.4h を最大とします。

○B to B 企業



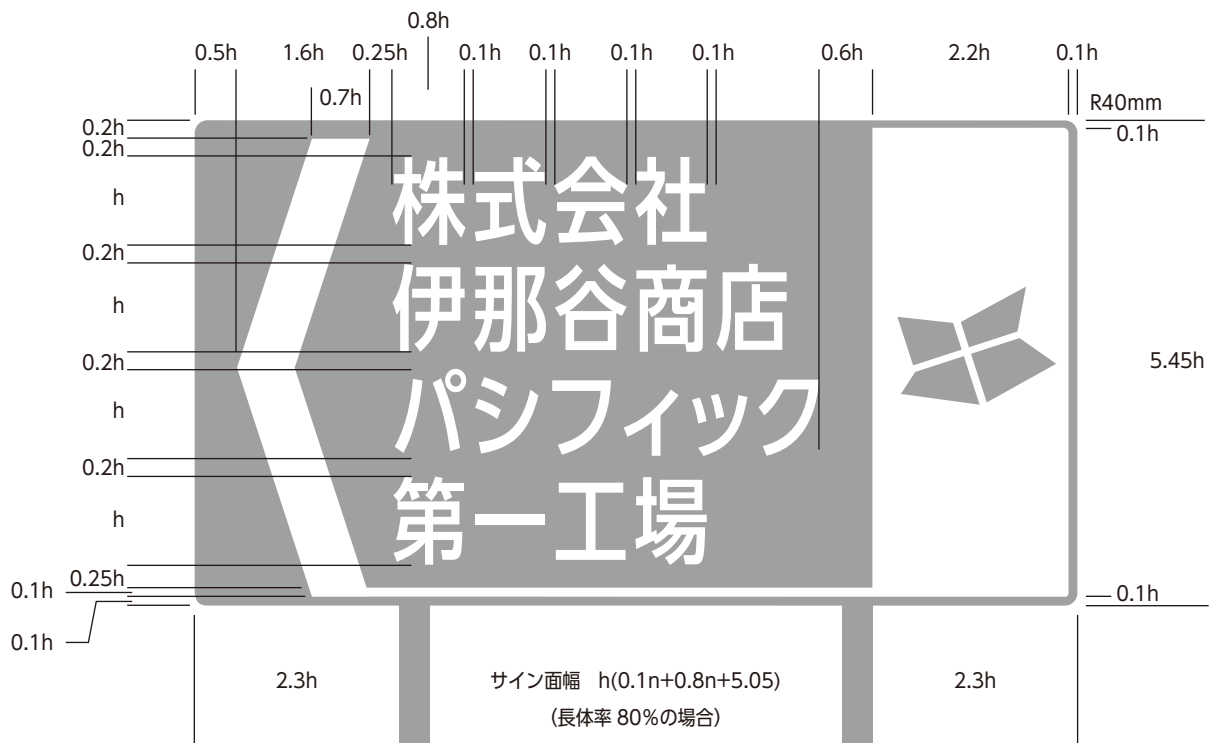
○B to C 企業、公共施設



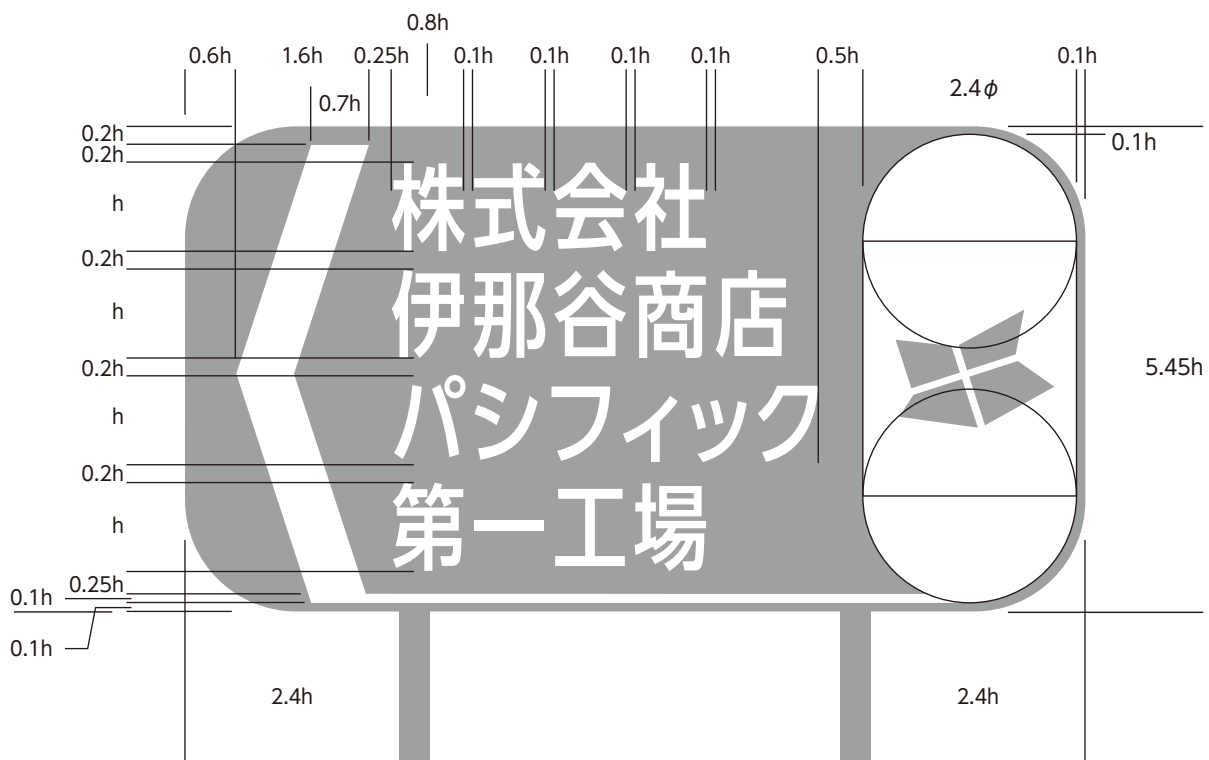
3) 横タイプ_改行複数行

- ・ h は漢字の規定文字高とします。
- ・ サブ情報は、必要に応じて、英語表記、または、二次的な地名（○○営業所、○○センターなど）を表記するものとします。広告コピー、商品名などの販促目的の表記等はしないものとします。
- ・ ローマ字の文字高は、規定の文字高の 80%の高さとします。
- ・ 文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・ BtoC サインのロゴ表記エリアの直径は 2.4h を最大とします。
- ・ 改行は最大 4 行までとします。

○B to B 企業



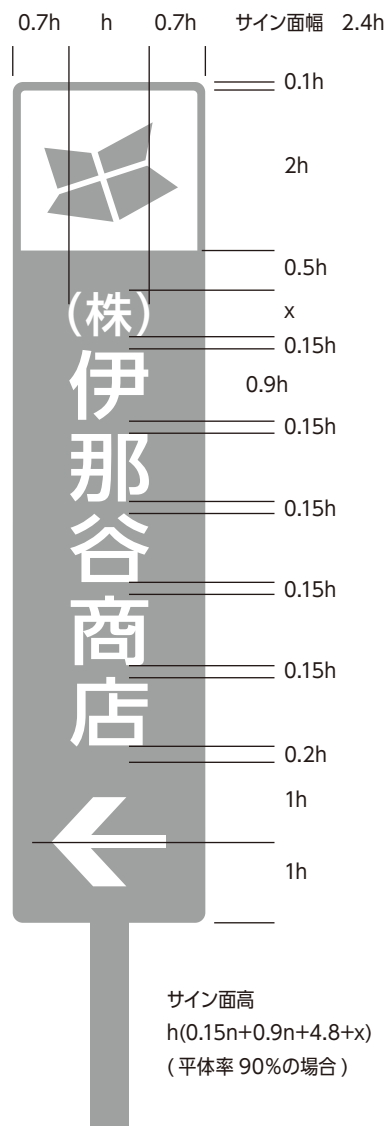
○B to C 企業、公共施設



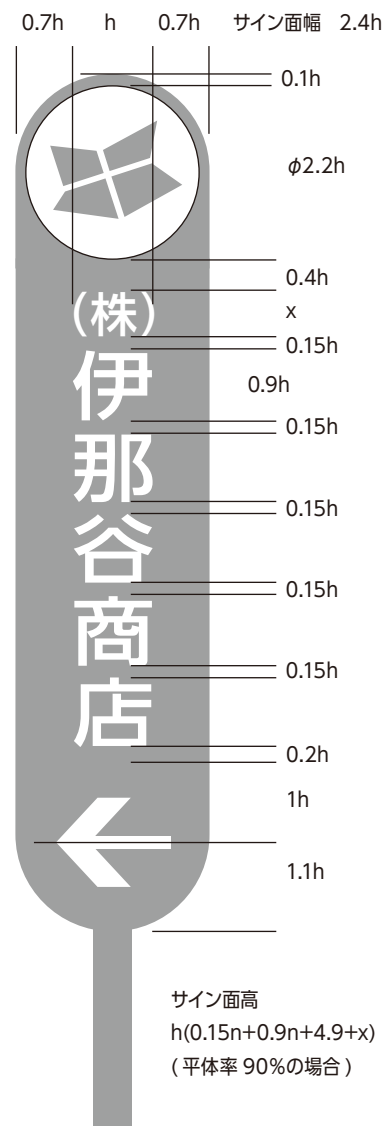
4) 縦タイプ

- ・ h は漢字の文字幅
- ・ 板寸法は、図の式で計三語、四捨五入でcm単位にまとめるものとします。
- ・ 表示漢字数の合計が 6 文字を超える場合には、文字の平体率（100%～80% まで）を調整することとする。表示板の高さが 1,800mm を超える場合は、改行するなどして調整するものとします。
- ・ 文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・ 名称が 1～2 文字の場合、最低 3 文字分のスペースを使用することとします。

○B to B 企業



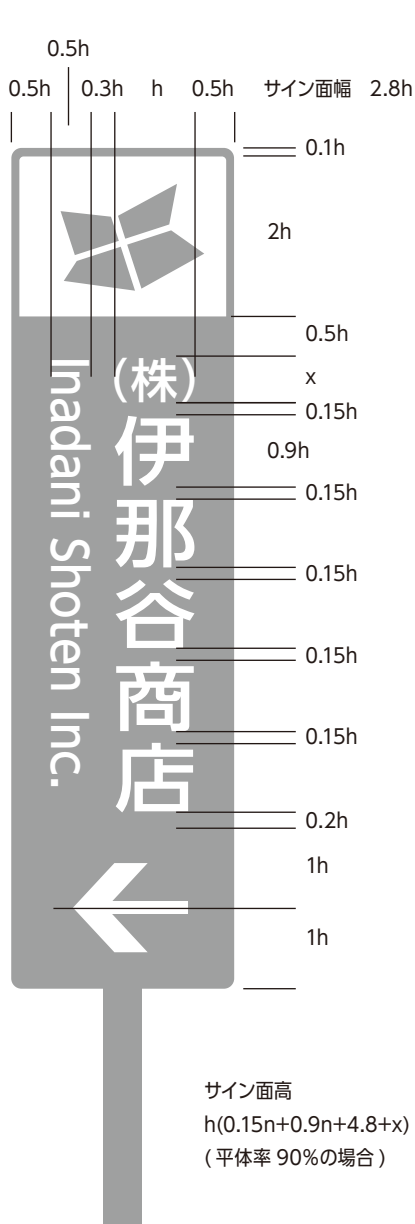
○B to C 企業、公共施設



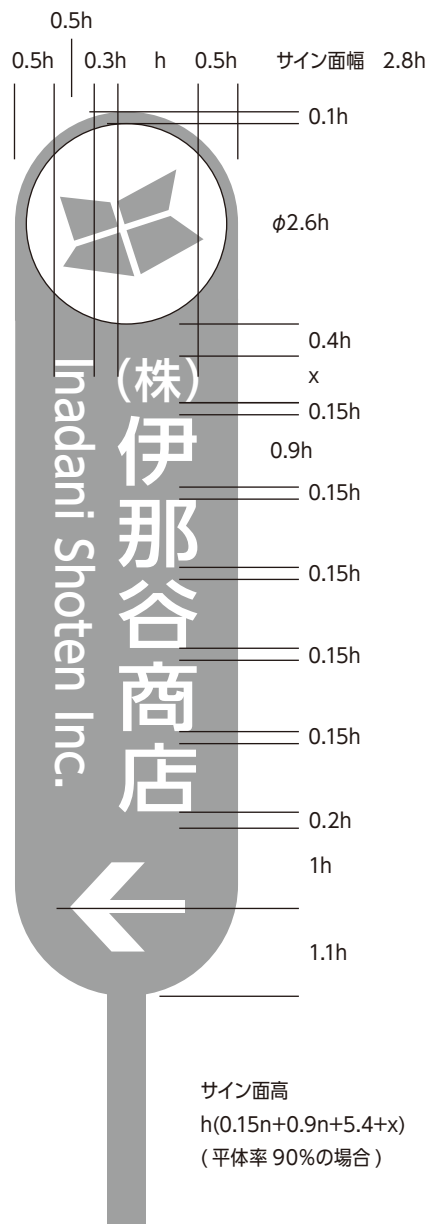
5) 縦タイプ_サブ情報表記付

- ・サブ情報は、必要に応じて、英語表記、または、二次的な地名（○○営業所、○○センターなど）を表記するものとします。広告コピー、商品名などの販促目的の表記等はしないものとします。
- ・文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・名称が1～2文字の場合、最低3文字分のスペースを使用することとします。

○B to B 企業



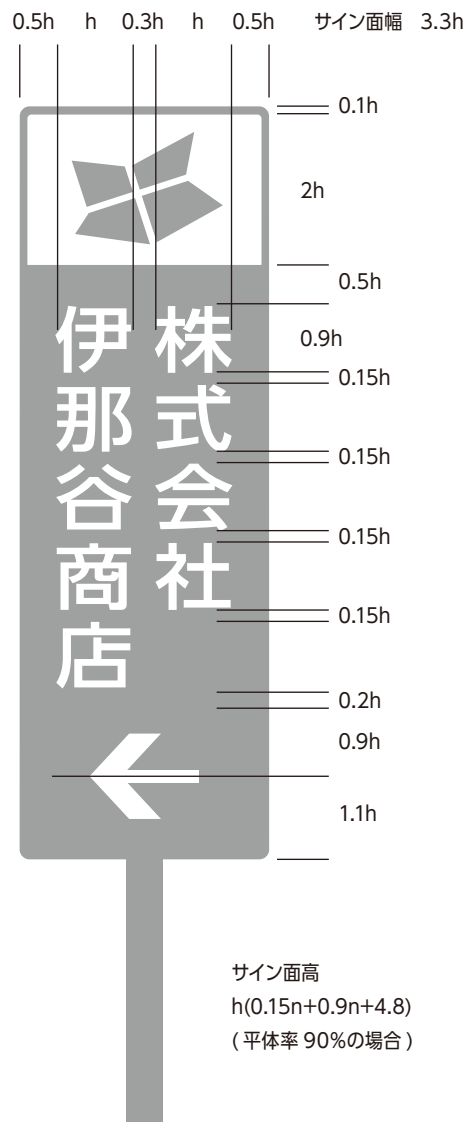
○B to C 企業、公共施設



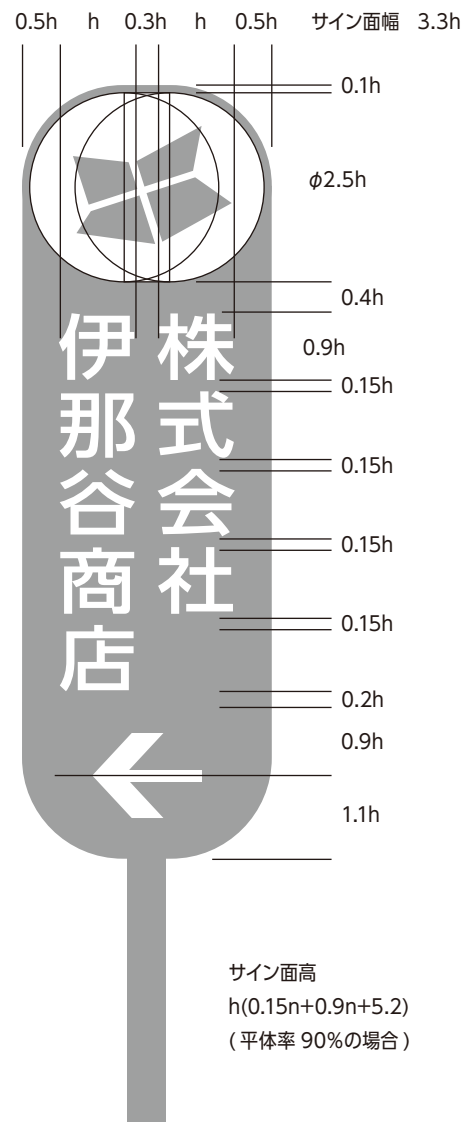
6) 縦タイプ_サブ情報表記付

- ・原則として1行にまとめることが望ましいが、目的地名が長い場合や設置場所等の状況により、目的地名を複数行に分けて表記します。
- ・文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。

○B to B 企業



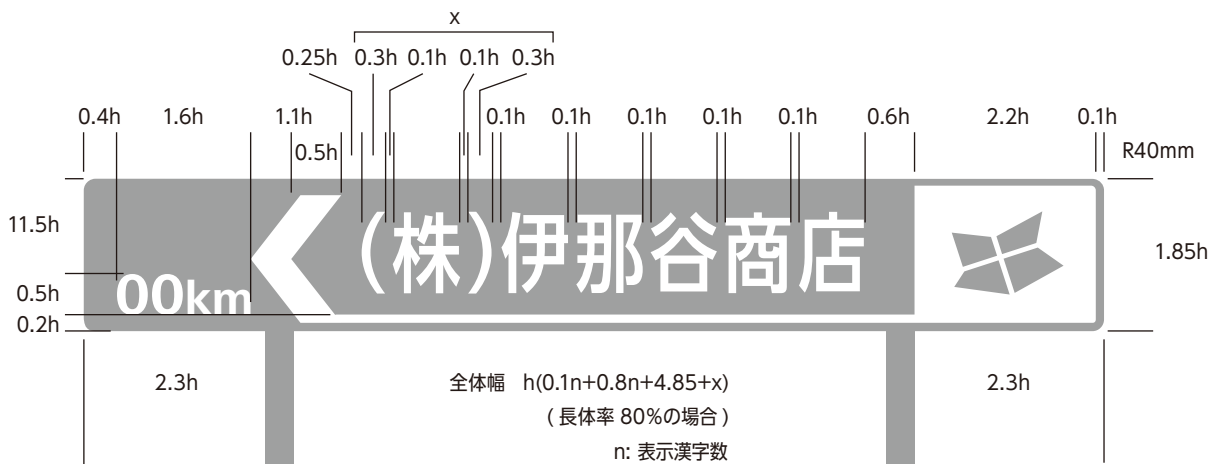
○B to C 企業、公共施設



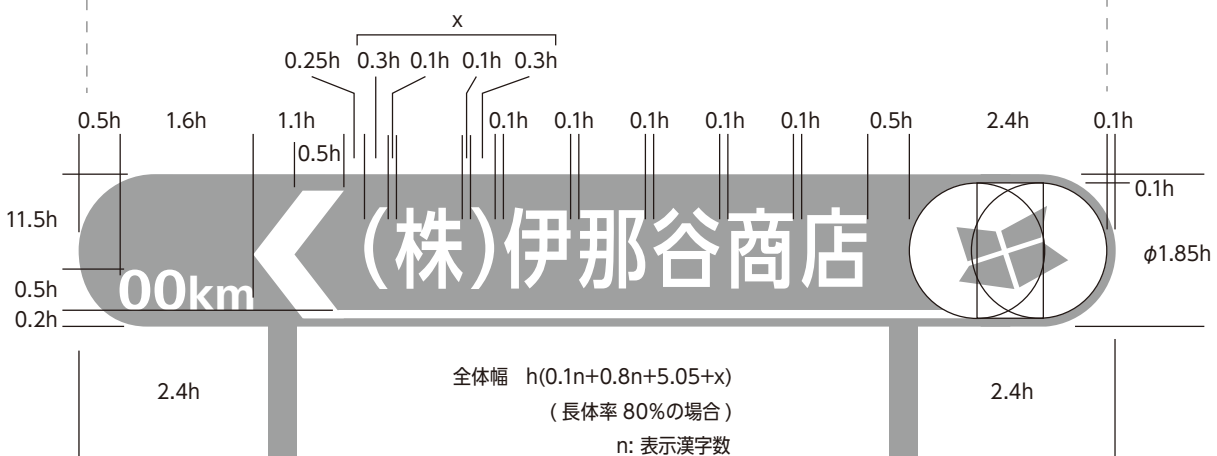
1) 距離表記付_横タイプ

- ・板寸法は、図の式で計三語、四捨五入でcm単位にまとめるものとします。
- ・表示漢字数の合計が6文字を超える場合には、文字の平体率（100%～80%まで）を調整することとする。表示板の高さが1,800mmを超える場合は、改行するなどして調整するものとします。
- ・文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・名称が1～2文字の場合、3文字分のスペースを使用することとします。
- ・距離表記の「km」「m」は小文字とします。

○B to B 企業



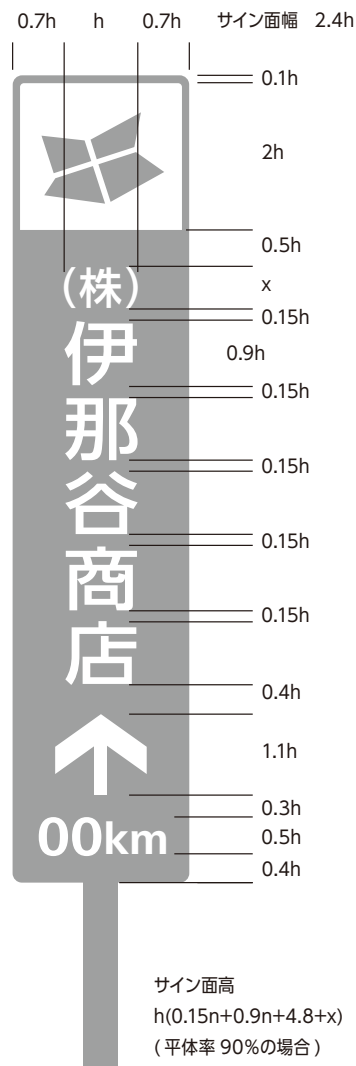
○B to C 企業、公共施設



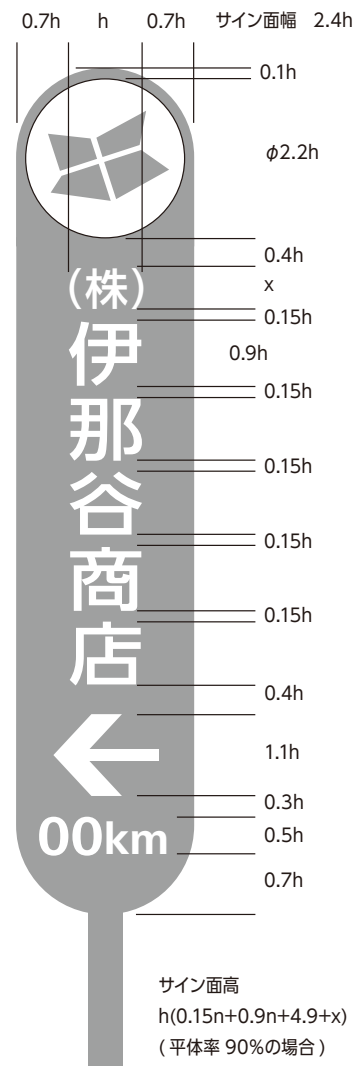
4) 縦タイプ

- ・ h は漢字の文字幅
- ・ 板寸法は、図の式で計三語、四捨五入でcm単位にまとめるものとします。
- ・ 表示漢字数の合計が 6 文字を超える場合には、文字の平体率（100%～80% まで）を調整することとする。表示板の高さが 1,800mm を超える場合は、改行するなどして調整するものとします。
- ・ 文字を揃える際は、数値的に合わせるだけでなく、視覚的に揃うように調節します。
- ・ 名称が 1～2 文字の場合、最低 3 文字分のスペースを使用することとします。

○B to B 企業



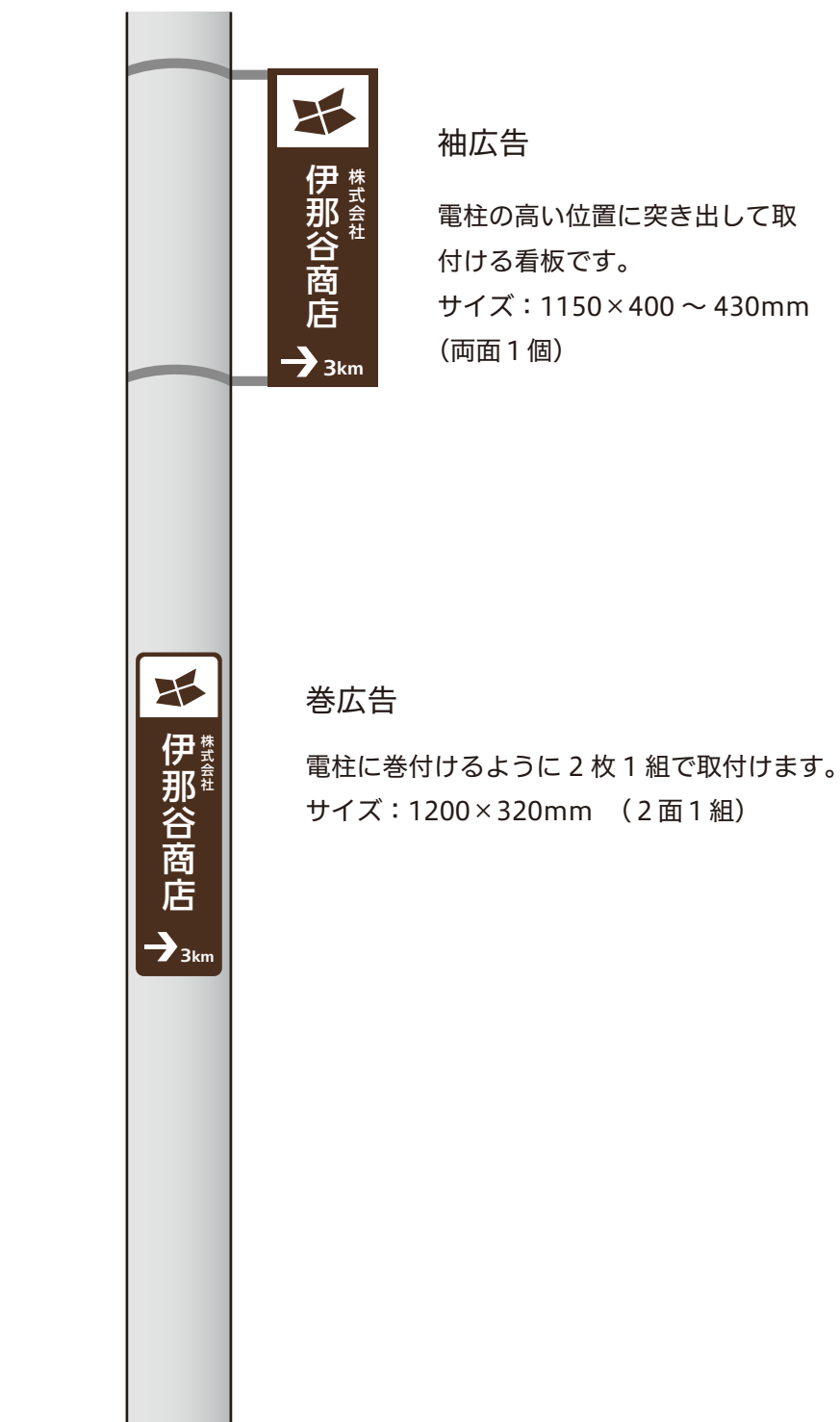
○B to C 企業、公共施設



(3) 様々な媒体への適用

① 電柱看板

使用する色は、中部電力株式会社の指定色と白の2色とします。



1) 袖広告

- ・方向・距離を併記する場合は、方向を左に配置することとします。
- ・目的地表記スペースは、施設名称の文字数によって、ガイド（漢字幅 120～150mm 程）を参考に、長体・平体を使いレイアウトすることとします。

○B to B 企業



C.I.、ロゴ

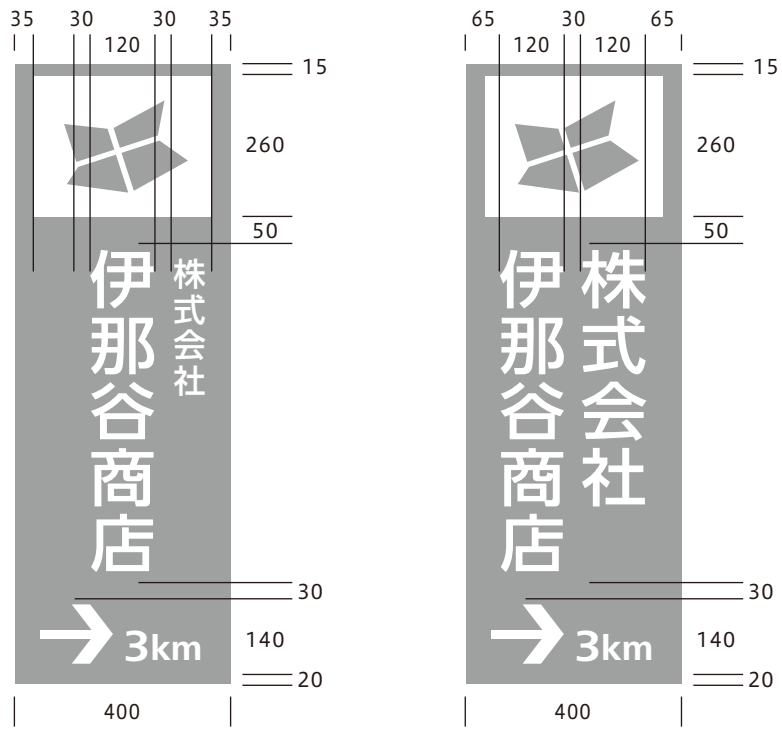
目的地

方向・距離

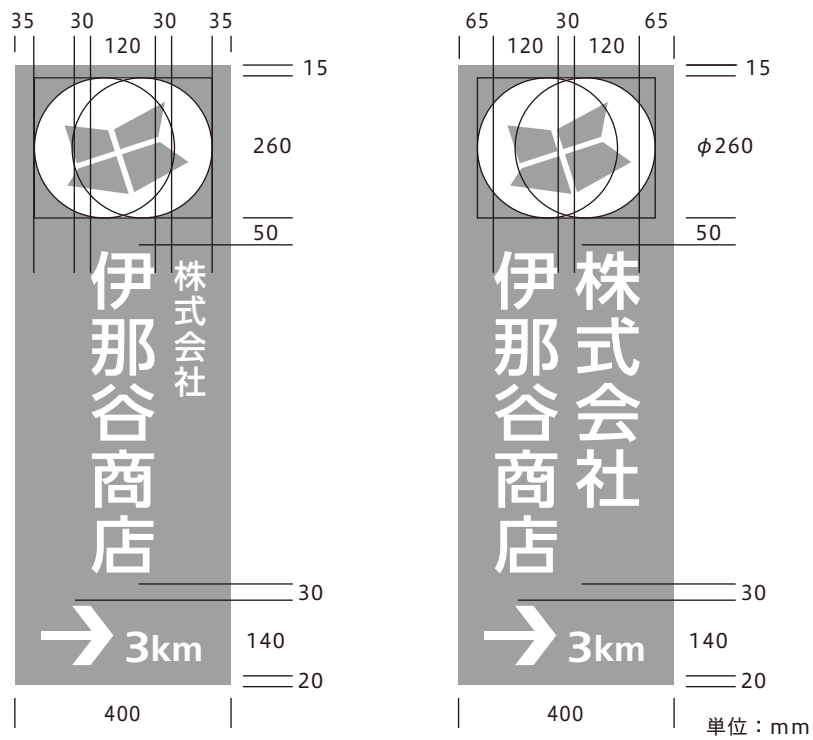
○B to C 企業、公共施設



○B to B 企業



○B to C 企業、公共施設

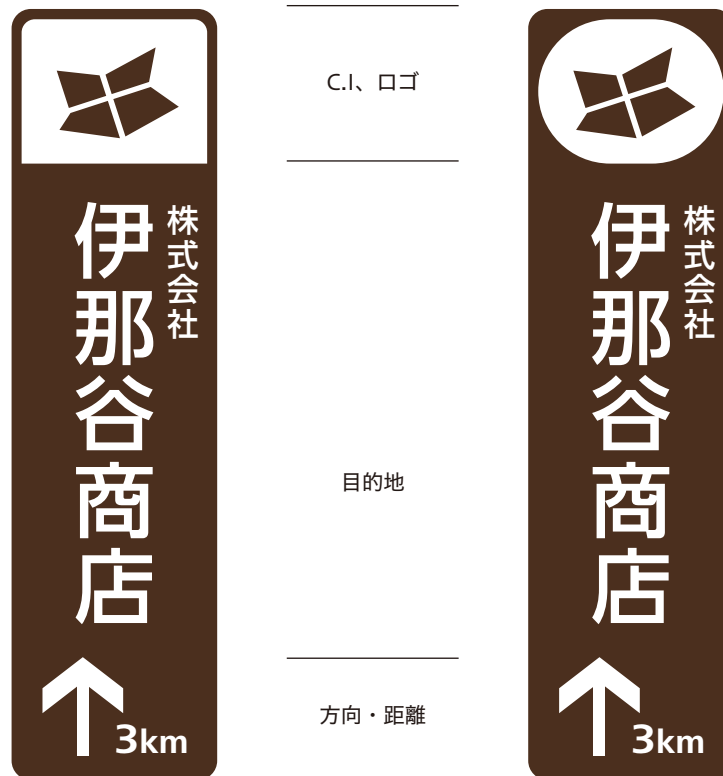


2) 巻広告

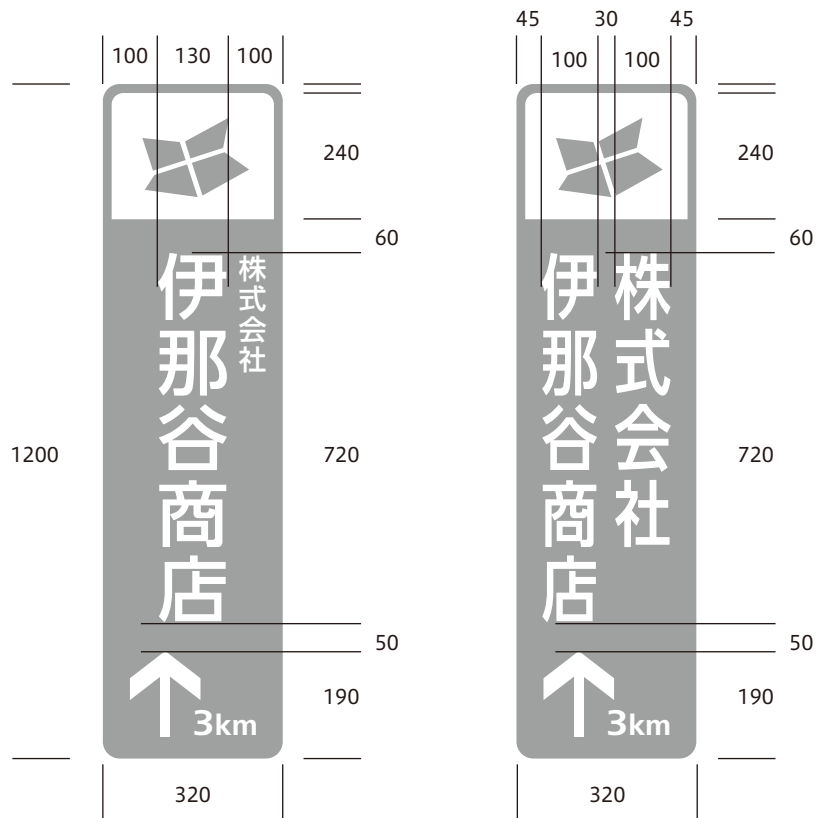
- ・方向・距離を併記する場合は、方向を左に配置することとします。
- ・目的地表記スペースは、施設名称の文字数によって、ガイドの数字（漢字幅130～150mm程）を参考に長体、平体を使いレイアウトすることとします。
- ・風土記街道沿いは車での往来が主であるため、下部の町名表スペースは省略可能とします。

○B to B 企業、公共施設

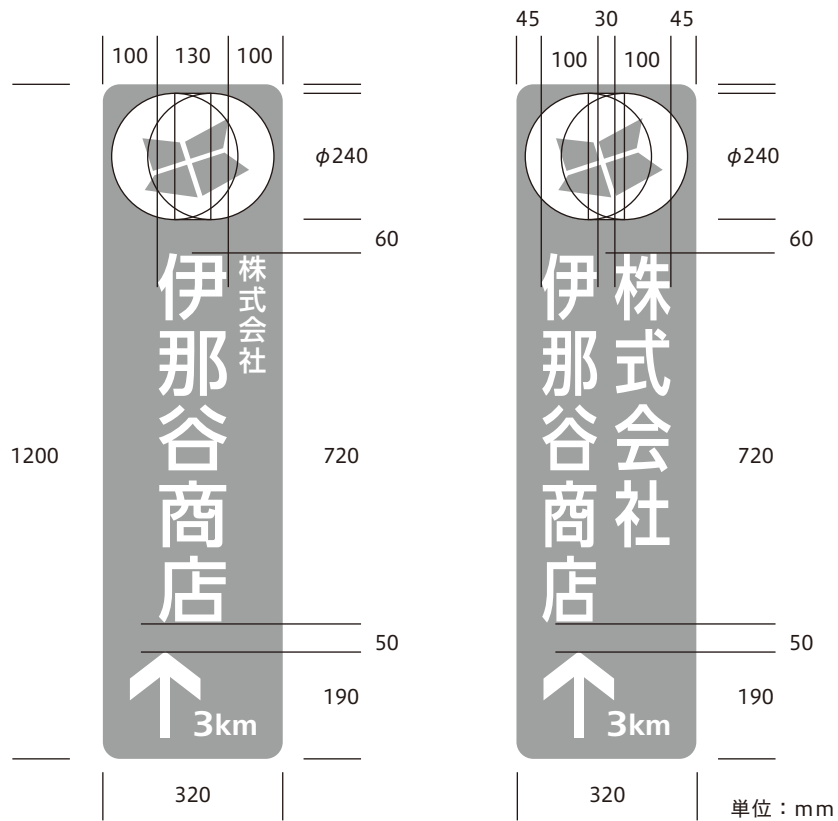
○B to C 企業



○B to B 企業

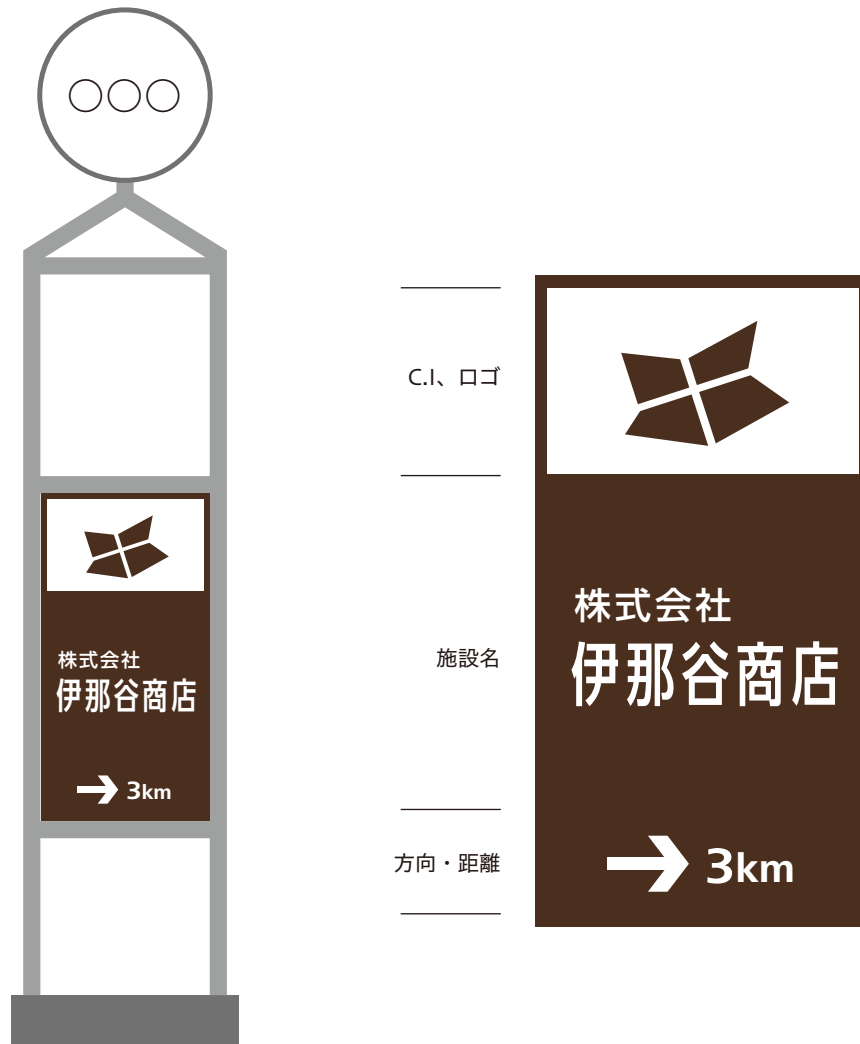


○B to C 企業、公共施設

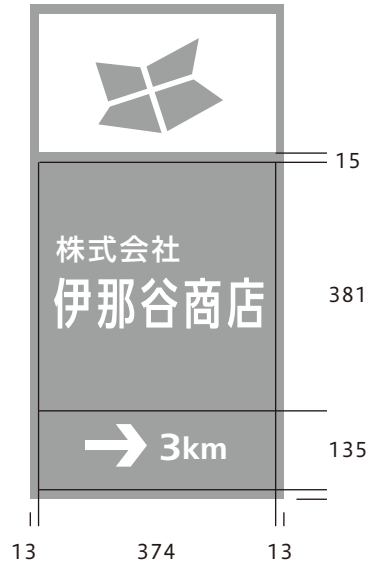


② バス停看板

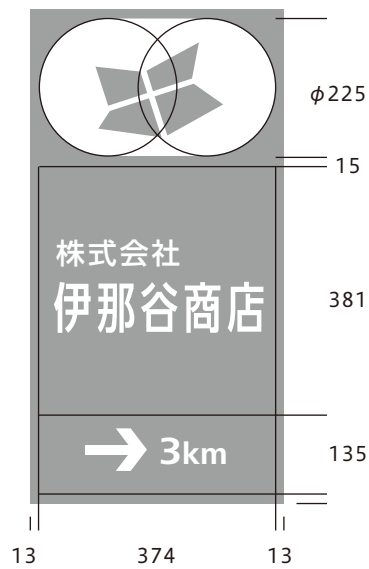
- ・バス停の表示看板に取り付けるタイプの看板（780×400mm）。
- ・方向・距離の表記が必要ない場合は、省略可能とします。
- ・使用する色は伊那谷ブラウンと白の2色とします。



○B to B 企業



○B to C 企業、公共施設

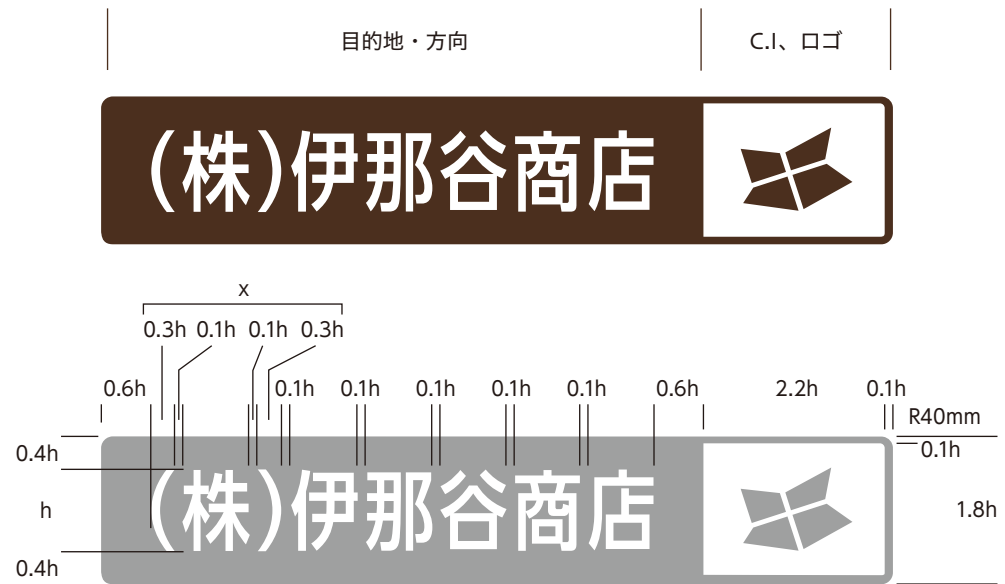


単位：mm

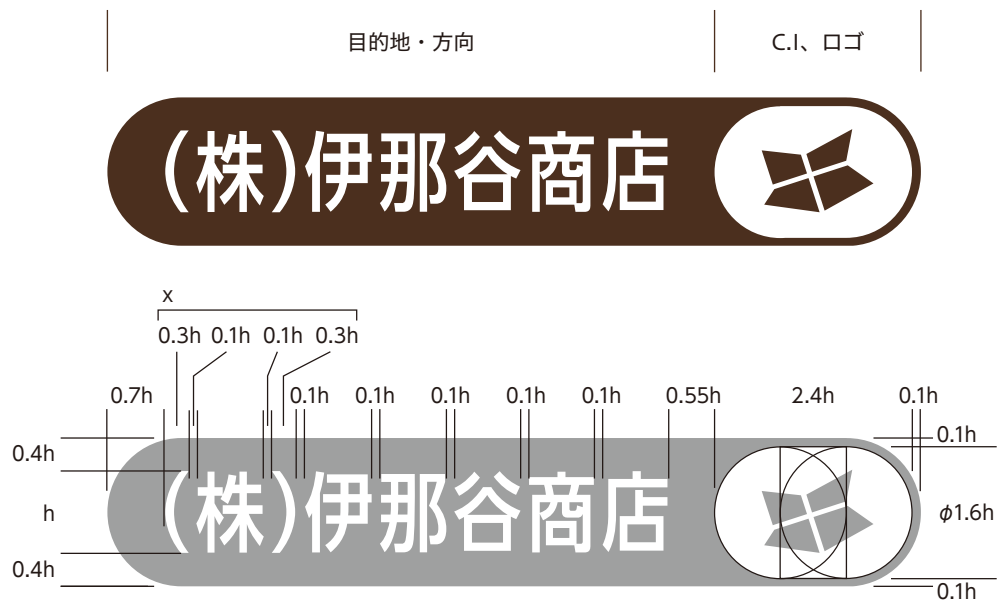
③ 標札サイン

- ・支柱を使用せず、壁面に直接設置するサインです。
- ・使用する色は伊那谷ブラウンと白の2色とします。
- ・設置場所と高さに関しては、現地の状況、周囲の自然、交通環境に十分配慮して設置することとします。

○B to B 企業



○B to C 企業、公共施設



5. 維持管理

サインは、設置後においても機能や品質、景観、わかりやすい情報提供を確保するため、日常の点検、メンテナンス及び更新が必要となります。

(1) サインの本体基本構造

サイン設置後、適切な維持管理が必要となります。情報の更新・変更、また外的要因によるサイン本体の破損、錆、表示面の剥がれなどが経年変化の中で想定されます。そのためサイン本体構造をユニット化し、部品の破損・修理や情報の更新など、作業の簡素化に配慮されたサインシステムにするとともに、サインを構成するマテリアル建材についても材質は耐久性を重視し、メンテナンスフリーな建材を使用します。

① サイン本体構造

情報の更新・変更、また外的要因によるサイン本体の破損、損傷などを想定し、サイン本体を構成する部位をユニット化し、修理時のコスト低減を図ります。

② メンテナンス性

材質、装飾素材には耐久性、汎用性のある素材の組合せ、選定をし、経年変化に対応できるサイン本体の仕様とします。

③ 維持管理などの作業性

サイン情報の更新、変更などに簡易に対応可能な構造とし、作業性の向上に配慮されたサイン構造にすることにより維持費の圧縮を図ります。

④ ユニバーサル設計

機能性を重視し、サイン本体構造のユニット化の利点を最大限に活かし、部分的な変更を可能とする構造とします。

(2) 点検及び更新

シリアルナンバーを発行した看板（サイン）については、三風の会が、原則年一回点検、必要に応じて、該当する皆さんにご連絡いたします。

(3) サインの素材

耐久性、メンテナンス性、経済合理性を考慮し、下記の素材を基本仕様とします。



6. お問い合わせ先

○お電話でのお問合せ

三風の会事務局（看板窓口）
TEL. 090-4442-8519（窪田）
TEL. 090-4460-7723（氏原）

○ホームページからのお問合せ

三風の会オフィシャルホームページ
お問合せフォーム
<http://www.inadani3pu.org/contact/>

7. 引用・参考文献一覧

本ガイドラインの検討にあたり、引用及び参考にした文献を以下に示します。

①道路標識設置基準・同解説

社団法人 日本道路協会 昭和 62 年 1 月

②視線誘導標設置基準・同解説

社団法人 日本道路協会 昭和 59 年 10 月

③公共交通機関旅客施設のサインシステムガイドブック

交通エコロジー・モビリティ財団 平成 14 年 11 月

④ひと目でわかるシンボルサイン

交通エコロジー・モビリティ財団 平成 13 年 12 月

⑤カラーバリアフリー 色使いのガイドライン

神奈川県 保健福祉局 地域保健福祉部 地域保健福祉課 平成 20 年 10 月

⑥京都市屋外広告物条例

京都市都市計画局屋外広告物適正化推進室 2014 年 9 月 1 日

⑦金沢市景観計画

金沢市 平成 23 年

⑧国土交通省ホームページ／道路標識等

国土交通省 平成 25 年 4 月